紀美野町第1回定例会会議録

平成26年3月7日（金曜日）

○議事日程（第2号）

平成26年3月7日（金）午前9時00分開議

- 第1 議案第52号 工事請負契約の締結について
（平成25年度町営住宅福井第3団地新築（第2期）工事）
- 第2 議案第53号 工事請負契約の変更について
（平成25年度町営住宅福井第3団地新築（第1期）工事）
- 第3 議案第54号 監査委員の選任の同意について
- 第4 議案第55号 公平委員会委員の選任の同意について
- 第5 議案第56号 教育委員会委員の選任の同意について
- 第6 議案第57号 教育委員会委員の選任の同意について
- 第7 選 第 1号 選挙管理委員の選挙について
- 第8 選 第 2号 選挙管理委員補充員の選挙について
- 第9 議案第 4号 紀美野町消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定について
- 第10 議案第 5号 延滞金の利率の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例について
- 第11 議案第 6号 紀美野町長及び副町長の給与等条例の一部を改正する条例について
- 第12 議案第 7号 紀美野町教育委員会教育長の給与等条例の一部を改正する条例について
- 第13 議案第 8号 紀美野町職員給与条例の一部を改正する条例について
- 第14 議案第 9号 紀美野町税条例の一部を改正する条例について
- 第15 議案第31号 紀美野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
- 第16 議案第10号 紀美野町消防手数料条例の一部を改正する条例について
- 第17 議案第11号 紀美野町行政財産使用料条例の一部を改正する条例について
- 第18 議案第12号 紀美野町立学校施設開放条例の一部を改正する条例について
- 第19 議案第14号 紀美野町公民館条例の一部を改正する条例について

- 第20 議案第15号 紀美野町自然体験世代交流センター条例の一部を改正する条例
について
- 第21 議案第16号 紀美野町星の動物園条例の一部を改正する条例について
- 第22 議案第17号 紀美野町文化センター条例の一部を改正する条例について
- 第23 議案第18号 紀美野町真国区民センター条例の一部を改正する条例について
- 第24 議案第20号 紀美野町社会体育施設条例の一部を改正する条例について
- 第25 議案第21号 紀美野町武道館条例の一部を改正する条例について
- 第26 議案第22号 紀美野町スポーツ公園条例の一部を改正する条例について
- 第27 議案第23号 紀美野町農村総合センター条例の一部を改正する条例について
- 第28 議案第24号 紀美野町総合福祉センター条例の一部を改正する条例について
- 第29 議案第28号 紀美野町立老人憩の家かしこ荘条例の一部を改正する条例につ
いて
- 第30 議案第32号 紀美野町国民健康保険診療所条例の一部を改正する条例につい
て
- 第31 議案第33号 紀美野町長谷毛原健康センター条例の一部を改正する条例につ
いて
- 第32 議案第34号 紀美野町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する
条例について
- 第33 議案第35号 紀美野町放棄自動車等の防止及び処理に関する条例の一部を改
正する条例について
- 第34 議案第36号 紀美野町農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例につ
いて
- 第35 議案第37号 紀美野町山の家おいし条例の一部を改正する条例について
- 第36 議案第38号 紀美野町美里の湯かじか荘条例の一部を改正する条例について
- 第37 議案第40号 紀美野町法定外公共物管理条例の一部を改正する条例について
- 第38 議案第41号 紀美野町建設残土処理場条例の一部を改正する条例について
- 第39 議案第42号 紀美野町営駐車場条例の一部を改正する条例について
- 第40 議案第43号 紀美野町公園条例の一部を改正する条例について
- 第41 議案第44号 紀美野町毛原水辺公園条例の一部を改正する条例について
- 第42 議案第45号 紀美野町のかみふれあい公園条例の一部を改正する条例につい

て

- 第43 議案第46号 紀美野町給水条例の一部を改正する条例について
- 第44 議案第13号 紀美野町社会教育委員設置条例の一部を改正する条例について
- 第45 議案第19号 紀美野町セミナーハウス未来塾条例の一部を改正する条例について
- 第46 議案第25号 紀美野町子ども医療費支給条例の一部を改正する条例について
- 第47 議案第26号 紀美野町ひとり親家庭医療費助成条例の一部を改正する条例について
- 第48 議案第27号 紀美野町高齢者医療費助成条例の一部を改正する条例について
- 第49 議案第30号 紀美野町重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例について
- 第50 議案第29号 紀美野町障害程度認定審査会の委員の定数等条例の一部を改正する条例について
- 第51 議案第39号 紀美野町道路占用条例の一部を改正する条例について
- 第52 議案第47号 紀美野町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について
- 第53 議案第48号 紀美野町民会館条例を廃止する条例について
- 第54 議案第49号 紀美野町水産業振興基金条例を廃止する条例について
-

○会議に付した事件

日程第1から日程第54まで

○議員定数 14名

○出席議員

議席番号	氏名
1番	七良裕 光 君
2番	町田 富枝子 君
3番	田代 哲郎 君
4番	加納 国孝 君
5番	北道 勝彦 君

6番 向井中 洋 二 君
 7番 上 北 よしえ 君
 8番 伊 都 堅 仁 君
 9番 仲 尾 元 雄 君
 10番 松 尾 紘 紀 君
 11番 上 柏 皖 亮 君
 12番 美 野 勝 男 君
 13番 美 濃 良 和 君
 14番 小 椋 孝 一 君

○欠席議員

な し

○説明のため出席したもの

職 名	氏 名
町 長	寺 本 光 嘉 君
副 町 長	小 川 裕 康 君
教 育 長	橋 戸 常 年 君
消 防 長	家 本 宏 君
総 務 課 長	井 上 章 君
企画管財課長	増 谷 守 哉 君
住 民 課 長	牛 居 秀 行 君
税 務 課 長	中 谷 嘉 夫 君
保健福祉課長	山 本 倉 造 君
産 業 課 長	大 窪 茂 男 君
建 設 課 長	山 本 広 幸 君
総務学事課長兼 教 育 次 長	中 尾 隆 司 君
生涯学習課長	岩 田 貞 二 君
会 計 管 理 者	西 切 博 充 君

水道課長 温井秀行君
地籍調査課長 尾花延弥君
美里支所長 西敏明君
国体推進課長 南秀秋君
代表監査委員 向江信夫君

○欠席したもの

なし

○出席事務局職員

事務局長 大東淳悟君
書記 中谷典代君

開 議

○議長（小椋孝一君） 規定の定足数に達しておりますので、これから本日の会議を開きます。

（午前 9時00分）

○議長（小椋孝一君） 本日の日程は、お手元に配付のとおりです。

◎日程第1 議案第52号 工事請負契約の締結について
（平成25年度町営住宅福井第3団地新築（第2期）工事）

○議長（小椋孝一君） 日程第1、議案第52号、工事請負契約の締結について（平成25年度町営住宅福井第3団地新築（第2期）工事）を議題とします。

これから質疑を行います。

10番、松尾紘紀君。

（10番 松尾紘紀君 登壇）

○10番（松尾紘紀君） 二、三点、ちょっとお聞きしたいと思います。

この第2期工事の落札者は墓野建築ということで、これに関して、何社入札があったのか、それと設計額の落札額と、それと前回の第1期工事のときに質疑させていただいたんですが、この墓野建築がするについて、地元のいろいろな要望があったと思いますが、それも含めて墓野建築が了解してやられるということになっているのか、その点お聞きします。

（10番 松尾紘紀君 降壇）

○議長（小椋孝一君） 企画管財課長、増谷君。

（企画管財課長 増谷守哉君 登壇）

○企画管財課長（増谷守哉君） それでは、松尾議員の御質疑にお答えさせていただきます。

まず、町営住宅福井第3団地の工事の2期工事の入札の参加者数ということでございます。社数につきましては、14社、参加していただいております。それと、入札の設計価格に対する落札額の率でございます。これにつきましては82.20%ということで落札をしてございます。

それと地元の了解を得て、この受けた業者が工事を進めるかということでございますが、地元との事前の協議の中で、工事に際しましては、地域の方が迷惑にならないよう

に工事を進めること、これはもう町が工事をする上で当たり前のことでございまして、路面への泥の汚れとか騒音については、できるだけ出さないように工事を進めるように、業者のほうを指導してございます。そういう形で工事が進んでいくということで、御理解をいただきたいと思っております。

以上です。

(企画管財課長 増谷守哉君 降壇)

- 議長 (小椋孝一君) 10番、松尾紘紀君。
- 10番 (松尾紘紀君) 今、参加業者が14社ということでしたが、これの金額、詳細をお願いします。

○議長 (小椋孝一君) 企画管財課長、増谷君。

○企画管財課長 (増谷守哉君) 松尾議員の再質疑で、入札をした入札額をそれでは申し上げます。まず、業者名が、小椋リビングクリーン株式会社、これにつきましては6,700万円、株式会社野上建設、これにつきましても6,700万円、芝滝建設6,250万円、坂本工務店6,710万円、墓野建築5,527万8,900円、株式会社前谷組6,725万円、加藤工務店6,050万円、弓倉鉄建6,050万円、株式会社吉田組5,548万円、折口組5,580万円、折口建設5,498万円、山本建設6,725万円、杉野組6,400万円、新谷鉄工5,540万円となっております。

なお、このうち最低額が折口建設5,498万円ということになってございますが、この入札につきましては低入札調査制度による調査基準価格を設定させていただいてございました。この調査基準価格を29万円8,000円下回ったということで、これにつきましては、役場のほうで、この価格について適切な価格であるのか、これに基づいて工事が適切にできるのかということで、調査を行うというふうな入札の方式でございます。このために入札後、すぐに関係資料を提出いただくということになるんですが、業者のほうからこの提出がなかったということで、失格ということになりました。その次に、墓野建築が5,527万8,900円ということで、調査基準価格以上の価格を提示していただいておりますので、墓野建築が落札ということで、現在に至っている状況でございます。

以上です。

○議長 (小椋孝一君) ほかに質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長（小椋孝一君）　　これで質疑を終わります。

これから議案第52号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君）　　賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君）　　これで討論を終わります。

これから議案第52号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君）　　異議なしと認めます。

したがって、議案第52号は原案のとおり可決されました。

◎日程第2　議案第53号　工事請負契約の変更について

（平成25年度町営住宅福井第3団地新築（第1期）工事）

○議長（小椋孝一君）　　日程第2、議案第53号、工事請負契約の変更について

（平成25年度町営住宅福井第3団地新築（第1期）工事）を議題とします。

これから質疑を行います。

1番、七良浴　光君。

（1番　七良浴　光君　登壇）

○1番（七良浴　光君）　　先日の議案説明の中で、消費税の増額及び外構工事の変更に伴う変更契約であるとの説明であったかと思いますが、差額268万4,760円の内訳を、また消費税の増額以外の工事設計額は幾らであったのか、あわせてお伺いします。

（1番　七良浴　光君　降壇）

○議長（小椋孝一君）　　企画管財課長、増谷君。

（企画管財課長　増谷守哉君　登壇）

○企画管財課長（増谷守哉君）　　それでは、七良浴議員の御質疑にお答えさせていただきます。

この変更につきましては、当初契約で5,911万5,000円、変更契約額が6,179万9,760円ということで、変更額につきましては268万4,760円の増額と

なっております。当初の説明のほうで、これにつきましては、消費税額と、それから外構工事で増額変更となってきたということで説明させていただきました。これにつきましては、消費税が繰り越し工事ということで、全体が5%と当初設計してたんですが、これが8%へ3%増額ということで、これを算出しますと168万9,000円、これが消費税分の増額分となります。

先ほど変更額が268万4,760円ということですので、この差額が99万5,760円の差額となっております。これにつきましては、工事着手に当たりまして、掘削を行った結果、当初、設計して期待していた地盤力が、期待する数値に足らなかったということで、それに伴う擁壁工の基礎の部分の工事の変更ということで、99万5,760円が増額されるものでございます。

以上、説明とさせていただきます。

(企画管財課長 増谷守哉君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 1番、七良裕 光君。

○1番 (七良裕 光君) 今、金額を言っていたいたんですが、その工事の99万5,000幾額かのお金については、工事の設計額であるのか、それとも実際、当初の落札率を掛けた金額であるのか、再度お尋ねをするとともに、明許繰り越しとなっております3,586万9,000円の中に、この消費税分アップの消費税分も含まれているということであったかと思っておりますので、再度、確認をしたいと思っております。

以上、よろしく申し上げます。

○議長 (小椋孝一君) 企画管財課長、増谷君。

○企画管財課長 (増谷守哉君) 99万5,760円の工事費の増額なんですが、これにつきましては、契約額のうち金額となっております。設計金額ではございません。設計金額につきましては、この落札率を逆算すれば算出されるということになっているんですが、落札をした率で設計額へ掛け込んだ差額ということで御理解いただきたいと思っております。

それと、繰越額の金額につきましては、8%の税率で算出した繰越額ということでございますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

○議長 (小椋孝一君) ほかに質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長（小椋孝一君）　　これで質疑を終わります。

これから議案第53号に対して、討論を行います。

反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君）　　賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君）　　これで討論を終わります。

これから議案第53号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君）　　異議なしと認めます。

したがって、議案第53号は原案のとおり可決されました。

◎日程第3　議案第54号　監査委員の選任の同意について

○議長（小椋孝一君）　　日程第3、議案第54号、監査委員の選任の同意について
議題とします。

これから質疑を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君）　　これで質疑を終わります。

これから議案第54号に対して、討論を行います。

反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君）　　賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君）　　これで討論を終わります。

これから議案第54号、監査委員の選任の同意を求める件を採決します。

この採決は、起立によって行います。

本件は、これに同意することに賛成の方は起立を願います。

（起立多数）

○議長（小椋孝一君）　　起立多数です。

したがって、議案第54号、監査委員の選任の件は同意することに決定しました。

◎日程第4 議案第55号 公平委員会委員の選任の同意について

○議長（小椋孝一君） 日程第4、議案第55号、公平委員会委員の選任の同意について議題とします。

これから質疑を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで質疑を終わります。

これから議案第55号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで討論を終わります。

これから議案第55号、公平委員会委員の選任の同意を求める件を採決します。

この採決は、起立によって行います。

本件は、これに同意することに賛成の方は起立を願います。

（起立多数）

○議長（小椋孝一君） 起立多数です。

したがって、議案第55号、公平委員会委員の選任の件は同意することに決定しました。

◎日程第5 議案第56号 教育委員会委員の任命の同意について

◎日程第6 議案第57号 教育委員会委員の任命の同意について

○議長（小椋孝一君） 日程第5、議案第56号、教育委員会委員の任命の同意について及び日程第6、議案第57号、教育委員会委員の任命の同意について一括議題とします。

これから質疑を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで質疑を終わります。

これから議案第56号に対して、討論を行います。

反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで討論を終わります。

これから議案第56号、教育委員会委員の任命の同意を求める件を採決します。

この採決は、起立によって行います。

本件は、これに同意することに賛成の方は起立を願います。

（起立多数）

○議長（小椋孝一君） 起立多数です。

したがって、議案第56号、教育委員会委員の任命の件は同意することに決定しました。

これから議案第57号に対して、討論を行います。

反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで討論を終わります。

これから議案第57号、教育委員会委員の任命の同意を求める件を採決します。

この採決は、起立によって行います。

本件は、これに同意することに賛成の方は起立を願います。

（起立多数）

○議長（小椋孝一君） 起立多数です。

したがって、議案第57号、教育委員会委員の任命の件は同意することに決定しました。

◎日程第7 選第1号 選挙管理委員の選挙について

○議長（小椋孝一君） 日程第7、選第1号、選挙管理委員の選挙を行います。

お諮りします。

選挙方法については、地方自治法第118条第2項の規定により、指名推選にしたいと思えます。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 異議なしと認めます。

したがって、選挙の方法は指名推選で行うことに決定しました。

お諮りします。

指名の方法については、議長が指名することにしたいと思います。御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 異議なしと認めます。

したがって、議長が指名することに決定しました。

選挙管理委員は、西 増三君、生年月日、昭和16年7月27日、住所、紀美野町野中125番地の1。

林 繁雄君、生年月日、昭和9年6月25日、住所は紀美野町下佐々166番地1。

吉田元重君、生年月日、昭和18年12月13日、住所は紀美野町小畑222番地13。

お手元に配付のところでは、動木となっていますけども、現住所は小畑ということで、訂正をお願いします。

前☞完侑君、生年月日、昭和13年3月29日、住所は紀美野町松ヶ峯52番地。

以上の方を指名します。

お諮りします。

ただいま議長が指名しました方を、選挙管理委員の当選人と定めることに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 異議なしと認めます。

したがって、ただいま指名いたしました西 増三君、林 繁雄君、吉田元重君、前☞完侑君、以上の方が、選挙管理委員に当選されました。

◎日程第8 選第2号 選挙管理委員補充員の選挙について

○議長(小椋孝一君) 日程第8、選第2号、選挙管理委員補充員の選挙を行います。

お諮りします。

選挙方法につきましては、地方自治法第118条第2項の規定により、指名推選にしたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長（小椋孝一君） 異議なしと認めます。

したがって、選挙の方法は指名推選で行うことに決定しました。

お諮りします。

指名の方法については、議長が指名することにしたいと思います。御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 異議なしと認めます。

したがって、議長が指名することに決定しました。

選挙管理委員補充員には、寺中茂夫君、生年月日、昭和11年2月3日、住所、紀美野町動木255番地1。

下垣内知広君、生年月日、昭和32年5月6日、住所は紀美野町三尾川326番地。

岡 省三君、生年月日、昭和25年3月31日、住所、紀美野町安井171番地1。

西山修平君、生年月日、昭和26年8月5日、住所、紀美野町小畑834番地30。

以上の方を指名します。

お諮りします。

ただいま議長が指名しました方を、選挙管理委員補充員の当選人と定めることに御異議ありませんか。

（「議事進行」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 13番、美濃良和君。

○13番（美濃良和君） きょう、この段階で、異議なし式で、簡易採決でやるのかどうかということで、起立採決という話になったのではないですか。余り個人の方に対する決定事項について、そういう簡易採決というのは失礼に当たるのではないですか。

○議長（小椋孝一君） しばらく休憩します。

休 憩

（午前 9時24分）

再 開

○議長（小椋孝一君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（午前 9時28分）

○議長（小椋孝一君） ただいま議長が指名しました方を、選挙管理委員補充員の

当選人と定めることに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 異議なしと認めます。

したがって、ただいま指名しました寺中茂夫君、下垣内知広君、岡 省三君、西山修平君、以上の方が、選挙管理委員補充員に当選されました。

次に、補充員の順序についてお諮りします。

補充の順序は、ただいま議長が指名しました順序にしたいと思います。御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 異議なしと認めます。

したがって、補充の順序は、ただいま議長が指名しました順序に決定しました。

◎日程第9 議案第4号 紀美野町消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定について

○議長(小椋孝一君) 日程第9、議案第4号 紀美野町消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定について議題とします。

これから質疑を行います。

13番、美濃良和君。

(13番 美濃良和君 登壇)

○13番(美濃良和君) 少し聞いておきたいと思います。政令が変更でしたが、そういう形で条例化しなきゃならないということになったということで、初日の説明があったわけでございますけれども、今回からはこういうふうな形でやるんだということなんです、それでは、前回はどういうふうな形で来てやったのか、その対比ですね、お聞かせ願いたいと思います。

(13番 美濃良和君 降壇)

○議長(小椋孝一君) 消防長、家本君。

(消防長 家本 宏君 登壇)

○消防長(家本 宏君) それでは、美濃議員の御質疑にお答えをいたします。

従前はどのようなふうな形だったのかという点でございますが、先日も御説明をさせていただきましたとおり、従前は消防組織法第15条第2項に消防長及び消防署長の任命資格ということで、「消防長及び消防署長は政令で定める資格を有する者でなければな

らない」というふうに明記をされておりました。その政令の定めということでございますが、今までは、ちょっと、まず読み上げさせていただきます。

まず、消防長の資格といたしまして、消防組織法第15条第2項に規定する消防長の政令で定める資格は、次に掲げるとおりとするということでございまして、第1項、消防職員として消防事務に従事した者で、消防署長の職または消防本部、消防学校もしくは消防職員及び消防団員の訓練機関における消防署長の職と同等以上と見なされる職にあった者、その職にあった期間、1年以上というような形に定められておりました。

2項のほうでは、消防職員として消防事務に従事した者で、前項に規定する職を補佐する職員、その他、消防本部、消防署、消防学校または消防職員及び消防団員の訓練機関におけるこれと同等以上と見なされる職のうち、条例で定める期間以上在籍することにより、消防長として必要な知識及び経験を有することとなると認められる者として、条例で定める職にあった者、その職にあった期間は条例で定める期間以上というような取り決めでございました。

次、3項で、消防団員として消防事務に従事した者で、消防団長の職にあった者、その職にあった期間、2年以上というふうな取り決めで、これ以外に、都道府県の消防事務に従事した者といった取り決めで、期間が2年以上、また、その職責に応じて都道府県、国の事務に従事した者も4年もしくは2年以上の者が消防長としてその職につくことができますというような取り決めでございました。これが消防長に関する従前の取り決めでございます。

あと、消防署長に関してでございますが、消防吏員として消防事務に従事した者で、消防司令以上の階級にあった者、その階級にあった期間が1年以上。消防吏員として消防事務に従事した者で、消防司令補以上の階級にあった者、その階級にあった期間が3年以上。消防団員として消防事務に従事した者で、消防団の常備部の長の職、または消防団の副団長の職、その他、消防団におけるこれと同等以上と見なされる職にあった者、その職にあった期間が3年以上であり、かつ消防大学において消防庁の長官が定める教育訓練を受けた者。これ以外に、先ほども言ったように、都道府県の消防事務に従事した者、また、国の消防事務に従事した者も一定期間以上、経験すれば、その職につくことができますというような取り決めでございました。

しかしながら、現状の消防ということを考えますと、現行政令の制定当時に比べますと、消防技術の向上、また災害対応事例の蓄積、教育訓練の充実、消防職員として錬成

できる機会が相当ふえているといったようなことで、国で一律に資格要件を定める必要性が低くなったといったようなことで、今回、このようにおのおのの市町村条例で定めるといったような形で決まったということでございます。

以上、答弁とさせていただきます。

(消防長 家本 宏君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) ほかに質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) これで質疑を終わります。

これから議案第4号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) これで討論を終わります。

これから議案第4号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第4号は原案のとおり可決されました。

◎日程第10 議案第5号 延滞金の利率の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例について

○議長 (小椋孝一君) 日程第10、議案第5号、延滞金の利率の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例について議題とします。

これから質疑を行います。

13番、美濃良和君。

(13番 美濃良和君 登壇)

○13番 (美濃良和君) この件については、さきの説明にあったように、延滞金自身が低くなると、そういうことということで確認させてもらってよろしいんですね。確認したいと思います。

(13番 美濃良和君 降壇)

○議長（小椋孝一君） 総務課長、井上君。

（総務課長 井上 章君 登壇）

○総務課長（井上 章君） 美濃議員質疑の、この延滞金の特例に関する定めでございます。先日も説明をさせていただいております現行4.3%が2.9%、これは1カ月以内ということでございます。それから、1カ月を超える分につきましては、14.6%から9.2%ということで、延滞金の利率が下がる特例がございますので、そういう利率の下がる変更でございます。

以上でございます。

（総務課長 井上 章君 降壇）

○議長（小椋孝一君） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで質疑を終わります。

これから議案第5号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで討論を終わります。

これから議案第5号を採決します。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第5号は原案のとおり可決されました。

◎日程第11 議案第6号 紀美野町長及び副町長の給与等条例の一部を改正する条例について

◎日程第12 議案第7号 紀美野町教育委員会教育長の給与等条例の一部を改正する条例について

◎日程第13 議案第8号 紀美野町職員給与条例の一部を改正する条例について

○議長（小椋孝一君） 日程第11、議案第6号、紀美野町長及び副町長の給与等条例の一部を改正する条例について、日程第12、議案第7号、紀美野町教育委員会教

育長の給与等条例の一部を改正する条例について及び日程第13、議案第8号、紀美野町職員給与条例の一部を改正する条例について、一括議題とします。

これから質疑を行います。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君)　これで質疑を終わります。

これから議案第6号に対して、討論を行います。

反対討論を行います。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君)　賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君)　これで討論を終わります。

これから議案第6号を採決します。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君)　異議なしと認めます。

したがって、議案第6号は原案のとおり可決されました。

これから議案第7号に対して、討論を行います。

反対討論を行います。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君)　賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君)　これで討論を終わります。

これから議案第7号を採決します。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君)　異議なしと認めます。

したがって、議案第7号は原案のとおり可決されました。

これから議案第8号に対して、討論を行います。

反対討論を行います。

(「なし」の声あり)

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで討論を終わります。

これから議案第8号を採決します。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第8号は原案のとおり可決されました。

◎日程第14 議案第9号 紀美野町税条例の一部を改正する条例について

◎日程第15 議案第31号 紀美野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

○議長（小椋孝一君） 日程第14、議案第9号、紀美野町税条例の一部を改正する条例について及び日程第15、議案第31号、紀美野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について一括議題とします。

これから質疑を行います。

13番、美濃良和君。

（13番 美濃良和君 登壇）

○13番（美濃良和君） 課長のほうから説明があったわけでございますけれども、税のところですね、若干、投資をされる株に対して、そういう方々に対する、軽いですが、税が下がるような状況になると思いますけれども、前に株をやっている方に対して、特例で2年間ずつの20%を10%にすると、こういうふうな形で来ておったんですが、それが過ぎた場合に、300万円ですか、の貯金ですね、要するに、をして、その中での減免的などころがあるというふうな、そういう条例の改正になったのがあったと思うんですけども、それについては、そういうところが使われるのか、使われないのか、お聞かせ願いたいと思うんですね。

それと、もう1点ですね、株に関する税の減税ですね、部分があるということで、要するに、小口の株投資に誘発していくと、そういうふうなことも狙ったものというふうにも思われますけど、それも間違いはないわけですか。そのようにとっても問題ないということになるのか、その点についても聞きたいと思います。

（13番 美濃良和君 降壇）

○議長（小椋孝一君） 税務課長、中谷君。

（税務課長 中谷嘉夫君 登壇）

○税務課長（中谷嘉夫君） 美濃議員の質疑にお答えいたします。

今回は、上場株式に係る配当等についての分離課税について、特定公社債等の利子が対象に追加されたということがもとでございまして、今言われましたように、税額が20%で、もともとが20%であったのが10%、それを2年間の軽減ということで、それがまた20%に戻るということの対応でございます。

今言われましたように、投資家が多様な金融商品等に投資しやすい状況にするということで、利子の所得についても分離課税方式への選択を認めまして、株式等の売買による株式損失とともに、損益通算ができるようになったということでございます。

それから、300万円についてというよりも、少額の投資ですけども、最近、ことしから始まっておりますNISAということで、100万円の少額投資が非課税ということになっています。

以上でございます。

（税務課長 中谷嘉夫君 降壇）

○議長（小椋孝一君） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで質疑を終わります。

これから議案第9号に対して、討論を行います。

反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで討論を終わります。

これから議案第9号を採決します。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第9号は原案のとおり可決されました。

これから議案第31号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) これで討論を終わります。

これから議案第31号を採決します。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第31号は原案のとおり可決されました。

◎日程第16 議案第10号 紀美野町消防手数料条例の一部を改正する条例について

○議長(小椋孝一君) 日程第16、議案第10号 紀美野町消防手数料条例の一部を改正する条例について議題とします。

これから質疑を行います。

3番、田代哲郎君。

(3番 田代哲郎君 登壇)

○3番(田代哲郎君) 消防手数料条例の一部を改正する条例ということで、地方公共団体の手数料の標準に関する政令が改正されたことに伴う条例の改正だという説明でしたが、こういった手数料というのは、本来、消費税の課税対象にはなっていない手数料だと思うんですけど、その点について確認させてください。

以上です。

(3番 田代哲郎君 降壇)

○議長(小椋孝一君) 消防長、家本君。

(消防長 家本 宏君 登壇)

○消防長(家本 宏君) 今、田代議員から御質疑をいただきました、こういったことに関しては、消費税の引き上げ等々の対象になってないといったような話でございましたが、一応、国からの通知に基づきますと、消費税及び地方消費税の税率の引き上げ等に伴い、地方公共団体の手数料の標準に関する政令に規定にする手数料の額の標準について見直しが行われたため、条例改正を一応行えという御指示に基づいて行うものでございます。

加えて言うならば、今回のこの手数料条例の引き上げたる対象に関しましては、この危険物の製造所等に係る手数料の全てではありませんで、一部ということでございます。大きな大容量の屋外タンク貯蔵所であったりとか、あるいは一般取扱所、製造所等々といったような大規模な危険物施設の許認可に伴う手数料というのが対象でありまして、その中には、消費税以外に、人件費、また物件費等の変動の影響を反映しても、なお、その現行の標準に比して、やっぱり増額する必要があるものといったようなものも、若干加味されておるといような状況でございますので、加えて、一応御説明とさせていただきます。

以上、答弁とさせていただきます。

(消防長 家本 宏君 降壇)

- 議長 (小椋孝一君) 3番、田代哲郎君。
- 3番 (田代哲郎君) いわゆる行政経費がかかるというか、こういうあれについて消費税が上がることに伴い、いろいろと行政経費がかさむのではというふうに認識したんですが、そういうことでよろしいのでしょうか。
- 議長 (小椋孝一君) 消防長、家本君。
- 消防長 (家本 宏君) 今、議員がおっしゃるとおりかと思われま。さらに詳しく説明をさせていただきます。

まず、改正の対象となる手数料に関しましては、製造所の設置の許可、これが指定数量の倍数が200倍を超えるということございまして、具体的に容量的にいきますと、1万キロリットル以上の貯蔵施設、少なくとも5,000キロリットル以上のといったような大容量の施設が一応対象になってまいります。次に、貯蔵所の設置許可、これも同じく大容量のということになってまいります。それから、一般取扱所の設置許可で、これも指定数量の倍数が200倍を超えるような施設と。次に、完成検査前検査ということで、タンクがきっちりと緻密にできておるかどうかといったような、溶接検査を行わなければならないんですが、これも同じく、大容量の1万キロリットル以上の屋外タンク貯蔵所といったものが対象となってございます。また、特定屋外タンク貯蔵所の保安に関する検査というようなことで、これも5,000キロリットル以上の特定屋外タンク貯蔵所が対象となっております、これも明確に書かれたものではございませんが、今、議員がおっしゃるようなことの要因によってということ、こういった形になったのではないかというふうに思われます。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長（小椋孝一君） 3番、田代哲郎君。

○3番（田代哲郎君） いわゆるこれは政令が改正されたことに伴うということですが、こうした政令というのは、改正されたら、やっぱりそれに従って、地方公共団体の条例というのは変更しなければ、何か例えば交付税に対するペナルティーがかかるとなっている、そういうペナルティー的なものがあるのかどうか、そのあたりのことをちょっとお伺いいたします。

○議長（小椋孝一君） 消防長、家本君。

○消防長（家本 宏君） この危険物製造所等の許認可事務といたしますのは、市町村長の権限でございまして、おのおの市町村に委ねられておる事項でございまして、しかしながら、全国統一的なそういった料金というのが消防法で定められておりまして、それに基づいて、市町村条例で市町村固有の許認可事務であるという意味合いから、手数料等、定められておることからすれば、ペナルティーがあるのかどうかといったようなあたりはわかりませんが、全国統一的な運用ということからすれば、当然、国の政令が改正されれば、それに基づいて市町村条例も改正すべきであるといったように考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長（小椋孝一君） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで質疑を終わります。

これから議案第10号に対して、討論を行います。

反対討論を行います。

3番、田代哲郎君。

（3番 田代哲郎君 登壇）

○3番（田代哲郎君） 直接、消費税がということではないんですが、政令では消費税の税率が改定されたことに伴い、行政経費ということで、いろいろな経費がかさむので、標準を変えるという。ただ、こういうのって、自治体の責任で別に消費税の税率が上がったわけではないから、そういうことに対する自治体の責任というのは、基本的にはないんですが、しかし、これは恐らくは対象になるのは事業所、個人の家庭とかということではないと思うんです。だから、事業所だから、そういういろいろな事業をや

る上での手数料に掛けていくんだということだと思んですけども、ただ、一般家庭にしる、事業所にしる、例えば事業所の方々というのは、この消費税が上がることに關して、仕入れの税率も上がるわけですから、いろいろな出費がかさんでいっていくということが起こるわけで、この町というのは、決して財政力というのは、町民、いわゆる事業所も豊かな利益を上げているわけでもなく、非常に脆弱な状態が続いているので、そういうことに、また、こういう引き上げをしていけば、事業活動を圧迫していくということになるし、本来自治体のあり方というのは、そういうふうな、いわゆる負担増について、できるだけ負担増にならないようにということで、事業活動がしやすいような施策をとるのが大事なことではないかと思ひます。だから、そういう意味で、そういった負担増に対して反対し、もちろんそういう立場で消費税の引き上げにも反対しますし、この条例の改正にも反対いたします。

以上です。

(3番 田代哲郎君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 反対討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) これで討論を終わります。

これから議案第10号を採決します。

この採決は起立によって行います。

議案第10号は、原案のとおり決定することに賛成の方の起立を願ひます。

(起立多数)

○議長 (小椋孝一君) 起立多数です。

したがって、議案第10号は、原案のとおり可決されました。

◎日程第17 議案第11号 紀美野町行政財産使用料条例の一部を改正する条例について

◎日程第18 議案第12号 紀美野町立学校施設開放条例の一部を改正する条例について

◎日程第19 議案第14号 紀美野町公民館条例の一部を改正する条例について

◎日程第20 議案第15号 紀美野町自然体験世代交流センター条例の一部を改正する

条例について

- ◎日程第21 議案第16号 紀美野町星の動物園条例の一部を改正する条例について
- ◎日程第22 議案第17号 紀美野町文化センター条例の一部を改正する条例について
- ◎日程第23 議案第18号 紀美野町真国区民センター条例の一部を改正する条例について
- ◎日程第24 議案第20号 紀美野町社会体育施設条例の一部を改正する条例について
- ◎日程第25 議案第21号 紀美野町武道館条例の一部を改正する条例について
- ◎日程第26 議案第22号 紀美野町スポーツ公園条例の一部を改正する条例について
- ◎日程第27 議案第23号 紀美野町農村総合センター条例の一部を改正する条例について
- ◎日程第28 議案第24号 紀美野町総合福祉センター条例の一部を改正する条例について
- ◎日程第29 議案第28号 紀美野町立老人憩の家かしこ荘条例の一部を改正する条例について
- ◎日程第30 議案第32号 紀美野町国民健康保険診療所条例の一部を改正する条例について
- ◎日程第31 議案第33号 紀美野町長谷毛原健康センター条例の一部を改正する条例について
- ◎日程第32 議案第34号 紀美野町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について
- ◎日程第33 議案第35号 紀美野町放棄自動車等の防止及び処理に関する条例の一部を改正する条例について
- ◎日程第34 議案第36号 紀美野町農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例について
- ◎日程第35 議案第37号 紀美野町山の家おいし条例の一部を改正する条例について
- ◎日程第36 議案第38号 紀美野町美里の湯かじか荘条例の一部を改正する条例について
- ◎日程第37 議案第40号 紀美野町法定外公共物管理条例の一部を改正する条例について
- ◎日程第38 議案第41号 紀美野町建設残土処理場条例の一部を改正する条例について

て

- ◎日程第 3 9 議案第 4 2 号 紀美野町営駐車場条例の一部を改正する条例について
- ◎日程第 4 0 議案第 4 3 号 紀美野町公園条例の一部を改正する条例について
- ◎日程第 4 1 議案第 4 4 号 紀美野町毛原水辺公園条例の一部を改正する条例について
- ◎日程第 4 2 議案第 4 5 号 紀美野町のかみふれあい公園条例の一部を改正する条例について
- ◎日程第 4 3 議案第 4 6 号 紀美野町給水条例の一部を改正する条例について

○議長（小椋孝一君） 日程第 1 7、議案第 1 1 号、紀美野町行政財産使用料条例の一部を改正する条例について、日程第 1 8、議案第 1 2 号、紀美野町立学校施設開放条例の一部を改正する条例について、日程第 1 9、議案第 1 4 号、紀美野町公民館条例の一部を改正する条例について、日程第 2 0、議案第 1 5 号、紀美野町自然体験世代交流センター条例の一部を改正する条例について、日程第 2 1、議案第 1 6 号、紀美野町星の動物園条例の一部を改正する条例について、日程第 2 2、議案第 1 7 号、紀美野町文化センター条例の一部を改正する条例について、日程第 2 3、議案第 1 8 号、紀美野町真国区民センター条例の一部を改正する条例について、日程第 2 4、議案第 2 0 号、紀美野町社会体育施設条例の一部を改正する条例について、日程第 2 5、議案第 2 1 号、紀美野町武道館条例の一部を改正する条例について、日程第 2 6、議案第 2 2 号、紀美野町スポーツ公園条例の一部を改正する条例について、日程第 2 7、議案第 2 3 号、紀美野町農村総合センター条例の一部を改正する条例について、日程第 2 8、議案第 2 4 号、紀美野町総合福祉センター条例の一部を改正する条例について、日程第 2 9、議案第 2 8 号、紀美野町立老人憩の家かしこ荘条例の一部を改正する条例について、日程第 3 0、議案第 3 2 号、紀美野町国民健康保険診療所条例の一部を改正する条例について、日程第 3 1、議案第 3 3 号、紀美野町長谷毛原健康センター条例の一部を改正する条例について、日程第 3 2、議案第 3 4 号、紀美野町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について、日程第 3 3、議案第 3 5 号、紀美野町放棄自動車等の防止及び処理に関する条例の一部を改正する条例について、日程第 3 4、議案第 3 6 号、紀美野町農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例について、日程第 3 5、議案第 3 7 号、紀美野町山の家おいし条例の一部を改正する条例について、日程第 3 6、議案第 3 8 号、紀美野町美里の湯かじか荘条例の一部を改正する条例について、日程第 3

7、議案第40号、紀美野町法定外公共物管理条例の一部を改正する条例について、日程第38、議案第41号、紀美野町建設残土処理場条例の一部を改正する条例について、日程第39、議案第42号、紀美野町営駐車場条例の一部を改正する条例について、日程第40、議案第43号、紀美野町公園条例の一部を改正する条例について、日程第41、議案第44号、紀美野町毛原水辺公園条例の一部を改正する条例について、日程第42、議案第45号、紀美野町のかみふれあい公園条例の一部を改正する条例について及び日程第43、議案第46号、紀美野町給水条例の一部を改正する条例について、一括議題とします。

これから質疑を行います。

3番、田代哲郎君。

(3番 田代哲郎君 登壇)

○3番(田代哲郎君) それでは、まず、議案第14号ですか、紀美野町公民館条例の一部を改正する条例で、公民館というのは、地域活動の拠点になっている施設で、今でもたくさんのサークル等が利用して、その中には減免を受けているということもあるんですが、そういう公民館活動という育成を妨げるというか、姿勢として、そういうことを町は積極的に育成していくということだと思んですけど、姿勢として、そういうことに水を差す姿勢と受け取られないかということ。

それから、15号、自然体験交流センターというのは、いろいろな活動があると思んですけど、主に今、どんな活動に利用されているのか。

それから、16号で、紀美野町星の動物園条例の一部を改正する条例では、バンガローとか山小屋教室というものの利用は、今はどうなのか。

それから、17号、紀美野町文化センター条例の一部を改正する条例というのがあるんですが、文化センターの使用料が高過ぎるのではないかという意見が、文化的な活動をしておられる、もちろん町の主催とか、それから後援を受けた団体というのは割引があるわけですけど、そうでなくとも、一般的な文化活動として、いわゆるプロモーションがやる利益を目的とした活動でない活動をする場合でも、非常に高過ぎるという意見があるんですけども、そういうことについては、承知されているのかどうか。

それから、区民センター条例の一部を改正する条例、18号ですけども、町内に在住する者、または勤務する者の無料というのがあったんですけど、それが廃止されているのはなぜかということ。

それから、19号は、セミナーハウスに関してですが、この改正というのは、あくまで上限を決めるためのものという説明があったと思うんですけども、そののところだけ確認させてください。あくまで上限を決めるだけのことで、いわゆる

○議長（小椋孝一君） 田代議員、19号は、これには入ってません。後でまた。後で、日程第45号で。今回は消費税関係だけでさせていただいている。

○3番（田代哲郎君） 43までか。これは後でします。43までですね。

○議長（小椋孝一君） 46までです。日程は43までやけど、議案は46です。

○3番（田代哲郎君） 43ですね。そうしたら、46号まで。そうしたら、これちょっとまた後でします。

20号ですね、紀美野町社会体育施設条例の一部を改正する条例について、これは、休校になっている志賀野小学校体育館と、それから志賀野小学校の運動場に関するあれなんですけど、こういうのは、地域おこしの拠点として、今、例えば志賀野フェスタであるとか、そういうのにずっと利用されているんですけど、そういうのが、ある程度の減免を受けていると思うんですけども、拠点として利用されている施設なので、そうした活動に対する影響はどう考えておられるのかお願いします。

それから、21号、紀美野町武道館条例が21号ですけども、現在、武道館というのは、どんなことで、どんな利用があるのか、利用の状況等についてお願いします。

それから、22号は、紀美野町スポーツ公園条例の一部を改正する条例なんですけど、いわゆる積極的に利用してほしい、これから国体に向かっての施設なので、金額でなく、そういうものまで引き上げるということについて、いわゆる子供たちの活動であるとか、それへの影響をどう考えておられるのかお願いします。

23号、紀美野町農村センター条例の一部を改正する条例ということで、ここも今はグラウンドとかの利用はわかるんですけども、いわゆる施設そのものがどういう利用のされ方をしているのか。

それから24号は、総合福祉センター条例の一部を改正する条例ということで、今まで会議室というのは、特定の人しか使ってなかったんですけど、それを一般に開放することで、利用料を取ることになったんですけども、その使用料というのは、どんな基準で設定されたのかお願いします。

それから、28号は、紀美野町の老人憩の家かしこ荘の条例の一部ですけども、これは老人クラブなどが、今、多分、ふれあいサロンとしても使われていると思うんですけど、

そういう老人クラブなど、高齢者の活動に水を差すということは、影響というのはないのかどうかをお願いします。

それから、32号で、国民健康保険診療所条例の改正というのがあります。いわゆる今、外来患者数の推移というのは、診療所医療全体でどうなのか、をお願いします。

それから、33号で、紀美野町毛原健康センター条例の一部を改正するというので、これも利用というのは、今、どんな利用状況なのか。

それから、34号は、廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部ということで、これどこで聞いてもいいんですけども、とりあえずここで聞かせていただきますが、一般会計で、歳出に係る消費税の影響額というんですか、消費税率が上がったことに対する一般会計の歳出増をどの程度と考慮しておられるのか、その辺のことをお願いします。

それから、35号、紀美野町放棄自動車等の防止及び処理に関する条例ですけども、表の中で、自転車というのはわかるんですけども、上記以外のものという表記がされているんですけども、これはいわゆる自動車に値するのか、そのことについてお願いします。

それから36号で、農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例ですが、これはいわゆる、本当に下水というのは生活に直結しているんですが、そのあたりのことについて、どう考えていられるのか。

それから、37号は、山の家おいしの条例ですけども、キャンプ場の利用の状況ですね、有料にした後の利用状況というのはどうなのか、をお願いします。

それから、38号で、美里の湯かじか荘の条例が出ていますが、これについては、上限設定なのか、それとも、この料金で運用しなければという、説明では、上限設定だという説明だということで伺ったんですが、この範囲であれば、自由に設定できるようになっているのかどうか、そのあたりのことをお願いします。

それから、あとは紀美野町建設残土処理場条例ですけども、那賀振興局管内まで、この対象を広げたということで、広げたら一体どの程度の利用料の収益が上がるというふうに考えておられるのか。

それから、42号、紀美野町営駐車場条例の一部を改正する条例ですが、いわゆる県営団地の駐車場で、小畑の上の部分ですけども、25年度、今年度での滞納の状況はどうなのかをお願いします。

それから、43号も入ってますね。紀美野町公園条例、これはくすのき公園の条例で

すが、あそこの利用というのは、夜店は、時々露天商のあれは夏にあるんですけど、それ以外に、どんなことに使われているのか。

44号、毛原水辺公園ですけども、そこも利用ってどんなことに、この公園が利用されているのか、利用の状況というのをお聞かせ願います。

それから、45号は、ふれあい公園ですけども、奥にバーベキューサイトとキャンプ場なんですけども、利用への影響というのはほとんどないというふうに、そういう懸念はないというふうに考えておられるのか、利用者への利用の状況への影響はどう考えておられるのか。

それから、46号、紀美野町給水条例ですけども、いわゆるこれだけが率を示さずに、消費税相当額という表現になっているんですよね。この相当額と表現したのは、いわゆる10%へ、来年度のあれで判断するという状況を見て、とりあえず8%にして、それの上で、秋ごろまた判断するということなんですけども、この消費税相当額というふうにしたのは、10%の引き上げも見越してのことなのかどうか、その辺のことについてお願いします。

○議長（小椋孝一君） しばらく休憩します。

休 憩

(午前10時22分)

再 開

○議長（小椋孝一君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

(午前10時45分)

○議長（小椋孝一君） 議員の皆様をお願いします。

ただいまこの議題については、消費税の関連質疑でございますので、消費税の関連部分については、質疑としてお伺いしますけども、それ以外については、できるだけ御答弁を御容赦お願いします。

執行部に対しても、消費税の関連の答弁としてお願いをして、それ以外については、御容赦を願いたいと、こういうふうに思います。

それでは、よろしくをお願いします。

しばらく休憩します。

休 憩

(午前10時45分)

再開

○議長（小椋孝一君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

(午前10時46分)

○議長（小椋孝一君） 生涯学習課長、岩田君。

(生涯学習課長 岩田貞二君 登壇)

○生涯学習課長（岩田貞二君） まず、条例の、議案第14号、26ページでございます。紀美野町の公民館条例の改正に伴う質疑であります。サークル等の活動で、以前と同じように減免措置をされていくのかという質疑であったかと思っております。これにつきましては、社会教育団体の減免は引き続き行っていくしますので、団体等のサークル等の活動には影響ございません。

続いて、議案第15号の29ページ以降です。自然体験交流センター条例の一部を改正する条例の質疑で、活動状況はどうかということでありましたので、答弁を差し控えさせていただきます。

続いて、議案第16号の31ページでございます。紀美野町星の動物園条例の一部を改正する条例のバンガロー、山小屋についての利用状況についての質疑でありましたので、これも差し控えさせていただきます。

議案第17号、33ページです。紀美野町文化センター条例の一部を改正する条例についてということで、料金が高過ぎるのではないかということでありましたので、お答えさせていただきます。

この料金につきましては、全体の町の施設の料金にあわせた形で進めております。また、近隣の施設の単価も決定するときに参考にして決めておりますので、高くないと思っております。また、文化センターで利用する団体の登録団体につきましては、前回と同じように無料という形で進めておりますので、何ら影響ないかと思っております。

36ページ、議案第18号の真国区民センターで、町内の方は無料かという質疑でありました。本条例の第14条に、町長が減免の措置を定める条例がございます。それを適用していきますので、町内の方は無料ということになります。それと、町外の方と、町内でも利益を求めて利用する場合は、料金が必要となると、以前と変わりません。

それから、40ページ、議案第20号の質疑であります。20号は、活動に対して影

響はあるのかという質疑であります。これも紀美野町の体育の団体になりますので、無料扱いとなりますので、以前と同じ無料という形で行っております。影響ないかと思えます。

議案第21号の42ページでございます。武道館条例の一部を改正する条例の、活動状況についてであります。これも活動状況ということですので、答弁を差し控えさせていただきます。

議案第22号です。44ページです。紀美野町スポーツ公園条例の一部を改正する条例であります。利用状況についてということでありましたので、これも差し控えさせていただきます。

続いて、議案第23号の、47ページ、紀美野町の総合センター条例の一部を改正する条例の、これも利用状況であったかと思えます。そして、総合センターのグラウンドは慶風高校ということで、利用しているのでわかっているが、ほかの施設の利用状況はどうかということでありましたので、これも差し控えさせていただきます。

以上で、町に登録している団体等は、全部、無料となっておりますので、この料金体制には影響ないかと思えます。

(生涯学習課長 岩田貞二君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 保健福祉課長、山本君。

(保健福祉課長 山本倉造君 登壇)

○保健福祉課長 (山本倉造君) 議案第24号、紀美野町総合福祉センターの条例改正の件でございます。新しく設定いたしました会議室の料金は何に基づくのかということでございます。これにつきましては、公民館の会議室の使用料と同一とさせていただいています。

続きまして、28号の、58ページですが、老人クラブふれあいサロン等に今回の消費税による料金改定の影響はないかということでございますが、これについては影響はございません。

続きまして、33号、毛原健康センターの利用状況につきましては、控えさせていただきます。

(保健福祉課長 山本倉造君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 住民課長、牛居君。

(住民課長 牛居秀行君 登壇)

○住民課長（牛居秀行君） それでは、私のほうから田代議員の御質疑、住民課関係では3点ございました。まず、32号の診療所の条例でございます。これにつきましては、診療所の外来の延べ患者数というお尋ねであったかと思えます。詳しいことは差し控えますが、年々右肩下がりで減っているような状況でございます。

それから34号、廃棄物の処理及び清掃に関する条例につきまして、この消費税の増額、増税によって、歳出、どれぐらいの影響を受けるのかというふうな御質疑であったかと思えます。現在、紀美野町では自己搬入及び臨時収集の粗大ごみの処理につきましては、民間企業に委託をしております。現在、トン当たり4万9,875円で処理を委託しております。今後、消費税が8%になった場合、その額が5万1,300円、トン当たりとなりまして、トン当たりで1,425円値上がると、処理費が上がるということになります。

平成25年の実績でございますけれども、自己搬入及び臨時収集それぞれ合わせて、約95トンの処理量がございます。これを値上がりする1,425円に掛けますと、歳出における影響といたしましては、13万2,525円、約13万円の支出の増額となるという見込みでございます。

次に、35号の放棄自動車等の防止等に関する条例のところ、新旧対照表の中の上記以外のものというものの、この上記以外のものというのとは何かという御質疑であったかと思えます。この上記以外のものといえますのは、原動機付自転車及び大型自動二輪及び普通二輪車でございます。自動車につきましては、実費をいただくというふうな形で条例に載っております。つまり、上では自転車1台につきと、上記以外のものにつきましては、今申し上げたものでございます。

以上でございます。

（住民課長 牛居秀行君 降壇）

○議長（小椋孝一君） 建設課長、山本君。

（建設課長 山本広幸君 登壇）

○建設課長（山本広幸君） 議案第36号の農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例についてお答えします。

議員仰せの、下水道は生活に直結していることから、どのように考えているかとのことでございますが、使用料の値上げは、利用されている人にとっては、決して喜んでもらえるものではないと思えますが、しかしながら、施設の維持・管理においても、電

気代等、費用が高騰することは確かでございます。現在利用されている人に、それ相当の負担をお願いしたいと思っておるところでございます。

それから、41号の残土処理についてでございます。那賀振興局まで広げて、どの程度の収益を見込んでいるかということでございますが、現在では、どれぐらいの残土があるのか、わかってはおりません。説明のところでも申し上げましたが、紀の川市の貴志川とか桃山町については、紀美野町の残土処理場まで非常に近い位置にあることから、那賀振興局のほうでも、その近くで工事があれば、利用したいという申し出があったということでございます。

それから、43号のくすのき公園の利用でございます。議員が仰せのとおり、年に2回、夜店が利用をしてくださっております。約6,300円ぐらいの収益でございます。また、ふだんにつきましては、小さい子供からお年寄りまでのコミュニティの場となっており、たくさんの方が利用してくれているような状況でございます。

以上でございます。

(建設課長 山本広幸君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 水道課長、温井君。

(水道課長 温井秀行君 登壇)

○水道課長 (温井秀行君) 私のほうは、議案第46号、給水条例の消費税等相当額、10%となる予定を見込まれたことでしょうかという御質疑でした。一部、その思いもでございます。しかしながら、条文としての表記の仕方として、消費税等相当額、消費税法に基づく消費税額と、地方税法に基づく地方消費税額との構成の内訳がよくわかりやすいという意味合いで、こういう表記の仕方をさせていただきました。

(水道課長 温井秀行君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 産業課長、大窪君。

(産業課長 大窪茂男君 登壇)

○産業課長 (大窪茂男君) 田代議員の質疑にお答えさせていただきます。

78ページの議案第37号ですけれども、山の家おいし条例の一部改正ということで、キャンプ場の利用状況はということございましたので、答えはちょっと差し控えさせていただきますが、山の家おいしにつきましては、指定管理者制度をとっておりますので、上限を定めることになってございます。指定管理者が料金を決めるということで、この改正の料金の以内ということになってございます。

それから、95ページの議案45号、紀美野町のかみふれあい公園につきましては、影響はということだったかと思うんですけれども、全体の1割程度ですので、1区画当たりの利用料金ということで、団体で使用していただければ、4人、5人ということでしていただければ、1人当たりの影響というのは少ないんじゃないかと思っております。

以上です。

(産業課長 大窪茂男君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 企画管財課長、増谷君。

(企画管財課長 増谷守哉君 登壇)

○企画管財課長 (増谷守哉君) それでは、私のほうから議案第38号の美里の湯かじか荘の条例の改正に伴う御質疑で、この改正の金額については、上限を設定しているのかという御質疑であったかと思っております。そのとおりでございます。これにつきましては、かじか荘の入浴施設、それから宿泊施設の入浴料、それから宿泊料、休憩料等の指定管理者が設定できる上限の額を設定しているものでございます。

それから、議案第42号、町営住宅の条例の一部の改正についてですが、滞納の額ということで、今回の消費税の関係ということで、直接関係ないということで、答弁を控えさせていただきます。

それから、議案第44号の毛原水辺公園条例の一部の改正についてでございますが、これにつきましては、小西地区にございます毛原オートキャンプ場の施設の改正に伴うものでございます。これにつきましては、かじか荘を指定管理していただいている方に管理をしてもらっている状況でございます。利用につきましては、夏場を中心に4,300人程度の利用をしていただいている次第でございます。

以上、答弁とさせていただきます。

(企画管財課長 増谷守哉君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) しばらく休憩します。

休 憩

(午前11時05分)

再 開

○議長 (小椋孝一君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

(午前 11 時 06 分)

○議長 (小椋孝一君) 3 番、田代哲郎君。

○3 番 (田代哲郎君) 質疑を出してなかった分で、12 号の町立学校施設開放条例の一部を改正する条例と、負担は 3% ということであるんですが、こういう学校等で体育館であるとか、そういうものを使って活動している者には、やっぱりほかの施設と同じような減免の対象になっているのかどうかと、それから紀美野町公民館条例の一部を改正で、登録されている団体は全部減免されていますよということで、そうしたら、対象になるのは具体的にどんな活動なのか、この引き上げの、それをお伺いします。

それから、15 号の自然体験世代交流センター条例では、どんな活動に利用されるということでは、ちょっと答えられないということですが、逆に言えば、消費税によって引き上げの対象となる活動というのは、どんな活動を予定されているのかということ。

それから、星の動物園条例の一部を改正する条例でも、利用状況と利用頻度ということなので、あれですが、ほとんどが教育的な、望遠鏡の貸し出しとか、そういうことに対するあれが多いんですが、ただ、バンガローや山小屋というのは、消費税による値上げの対象になっていますので、そういう部分での活動、いわゆる利用に影響はあるのかなのか、そんな点のことをお伺いします。

それから、いわゆる文化センターの条例は 17 号ですけども、高くはないと、近隣の施設に比べると高くはないということで、高くはないというのですが、今、いわゆるそこへ、今の利用料に消費税を上乗せするという形になるわけですけども、その消費税がいわゆる値上げのものの価格というのは、利用料というのは高くはないですよということ。

なるほど、興業として業者があそこを使ってやる場合は、僕は決してあの使用料では高くはないなと思うんですが、ただ、町の後援を受けることのできないような一般の住民が例えばつくった実行委員会とか、それでいいミュージシャンを呼んできて、あそこでいい音楽を聞こうよという形のもので、その場合、当然、入場料を取ることになるわけです。一般に想定されるのは 2,000 円から 3,000 円ぐらいの入場料ですけど、例えば 2,000 円の入場料を取った場合で、300 をいっぱいにしても 60 万円という、ちょっとした一流のミュージシャンだと、大体それぐらい、もう出演料に飛んでしまうんで、そういう意味で、民間、いわゆる一般住民が金もうけのためではなく、いい音楽を聞こうという目的のためにだけに使う場合は、非常に高いということで、そ

うということへの適用がなくて、やろうかといって断念したあれもあるんですけども、そういう意味で高いという、この上、また値上がりすれば高いんじゃないかという認識なんですけど、その辺の答弁をお願いします。

それから、社会体育施設の志賀野小学校なんですけど、今、活動している団体は、志賀野フェスタであっても、ほかのあれでも、ほとんど掛けるあれにはなっていないということで、そうしたら、そういう利用料を値上げして取るという活動は、どんな活動、今のところそういう活動があるのかどうか、そういうことをお伺いします。

武道館についても同じことですが、値上げをすることで、今多分、いろいろな武道のあれで、あそこは余り僕は入ったことないんでわからないんですけど、そういう活動の状況に、多分そこも減免があるんだろうと思うんです。だから影響ないということだと思ふ、という答弁になると思うんですけど、それでは、その活動でどんな活動が影響を受けると考えておられるのかをお願いします。

スポーツ公園も、たしか直接それとあれですけど、多分あそこもほとんどが減免されていると思うんですけども、では、減免をしないで、そのまま利用料金を取るような活動というのは、どんな活動があるのか、その辺のことをお願いします。

農村総合センターも、多分同じようなことで登録されているところはほとんどかかりませんというところですけど、じゃあ、そこを使って、ほかに利用料、使用料を設定してやるというような活動がどんな活動なのか、その辺のことをお聞かせ願いたいと思います。

福祉センターの会議室の料金については、公民館を対象にしたと。それはそう言われれば同じようなものに、ということになると思うんですけど、やっぱりそういうふうに全て平均化というんか、今まで公民館が利用料を取ってるからということですけども、こちらも何か、あそこでしているほとんどの団体は、恐らく登録されていて、減免を受けていると思うんですけど、こっちの場合もそういう減免の対象になるのでしょうか。そういうことをお伺いいたします。

老人憩の家かしこ荘も、特に利用料は、今、活動は取ってないと思うんですけども、それなら、それ以外の活動で、あんな施設を利用するという、あんなって怒られるんですけど、ああいう施設を、もとは風呂もあったし、デイサービスで利用していたものなんですけど、そういうのも利用することはあるのかどうか、そういう地域活動以外で、ふれあいサロンであるとか、有料で利用するということがあるのかどうかをお願いします。

す。

国民健康保険診療所です。利用上、外来患者は減っているということで、文書料とか、例えば介護保険の診断書料とかが値上げの対象になるわけですけど、今、町から、かなり一般会計から繰り入れているんですが、よくわからないと思うんですけども、消費税が上がった場合に、必要経費、特に医薬材料費なんですけども、そこほどの程度の影響が出ると予想しておられるのか、わかる範囲で結構ですので、お願いします。

毛原健康センター条例の一部を改正する条例でも、利用の状況ということでは、あれですけども、値上げの対象になる活動というのは、どういう活動なのか、その辺のことをお願いします。

それから、36号の農業集落排水処理施設条例ですけども、一方で利用料は上がっているんですが、手数料が引き下げられているんですよ。新規加入の手数料とか。この手数料を引き下げた理由というのは、どういうことなのかをお願いします。

それから、山の家おいし条例の一部を改正する条例で、利用状況ということは言えないというんですが、答弁の中に、あくまでも利用料の上限を設定するもので、その金額で運営しなければならないというものではないのだというふうに聞こえたんですけども、あくまでも上限なのか、指定管理者がそれ以下で運用するよということ構わないのかどうか、上限だけの設定かどうかをお聞きします。

美里の湯かじか荘の条例については、上限設定ということでしたので、それはそれでいいと思います。

公園条例の一部を改正する条例です。夜店しか利用がないということで、恐らくそういうことだと思うんです。あそこへ夜店が来るようになったのは何年か前から年に2回ほど来ているんですが、ということは、露天商の方々が、いわゆる夜店以外に特別にあそこで利用料を取るということは恐らくないだろうと思うんですけど、その点について、何か今度整備のあれがあるようにも聞いているんですが、その辺のことをお伺いします。

それから、毛原の水辺公園、44号ですけど、小西地区にあるオートキャンプ場ということで、これも上限設定だということだという説明だったんですけど、それをもう一度確認させてください。

それから、ふれあい公園の、いわゆるオートキャンプ場と、それからバーベキューサイトですけど、みんなでやるんやから、1人当たりの負担はそんな大したことないよという意味の答弁だと思うんですが、ただ、それでも1人当たり出す場合は、この程度の

値上がりで、ただ、考えてほしいのは、これだけが値上がりするんだったら、別に何円かの負担で済むけど、生活の中のあらゆるものが、4月からは値上がりするんです、消費税で。そういう人たちが、例えばキャンプ場を利用するという場合に、ここしかなければということはあると思うんですけど、ちょっとでも安いところへ行こうかというような心理になれば、やっぱり利用減に結びつかないのかなという懸念はあります。

それから、46号の給水条例ですけども、そういう思いもあるけども、消費税のあれがわかりやすいようにという、ただ、この文言だと、将来、消費税が10%、とりあえずなると、そこからまた、15%に上げようかというような話が出たときに、消費税が上がると、永遠に、もう自動的に水道料金が上乘せして上がっていくという形になりはしないかという、その辺の懸念がありますので、その点について、もう一度お答えをお願いします。

以上です。

○議長（小椋孝一君） 総務学事課長、中尾君。

○総務学事課長（中尾隆司君） 田代議員の質疑でございます。21ページからの関係で、紀美野町の学校施設開放条例の改正の部分でございます。

議員言われるように、通常、学校活動で体育館等を使用していると、また、それを利用者が借りるときに、減免とか免除とかでなっていくのかということだったと思います。開放条例の中に、第9条の中に使用料の減免という措置がございます。減免措置につきましては、町長が特別の理由があると認めるときは、前条の使用料を減額し、または免除するという規定がございますので、減免等については、この条文を使って減免措置をしているという状況でございます。

以上です。

○議長（小椋孝一君） 生涯学習課長、岩田君。

○生涯学習課長（岩田貞二君） 田代議員の2回目の質疑であります。27ページ、公民館条例の一部を改正する条例の料金対象となる団体等はあるのかというような質疑であったかと思えます。

これにつきましては、現在のところ、今、差し当たってない状態ではありますが、どういふ方が対象になるかという、どこかの部屋で利益を目的に品物を置くようなこととか、講演なんかを個人でやる場合の料金がそのときにはかかるということで、町外の方の利用ということも含めて、料金のかかる範囲としております。

続いて、31ページの議案第16号の、星の動物園条例のバンガロー、山小屋についての消費税に対しての影響があるのかという質疑だったかと思えます。実際、このバンガロー、山小屋の利用は、今、天文台で行われている観望会等で客員の方が泊まる程度で、料金がほとんど発生していないのが常態でございます。一般の方の貸し出しは現在のところないようです。

続いて、議案第17号でございます。文化センター等の利用料金の値段が高くて、新たに講演等をする場合に、一流の方を呼んで講演もなかなか難しい、300人以上集めなければ、プラスマイナスゼロにはなりにくいよというような御質疑であったかと思えます。確かに料金は冷暖房入れたり、控室なんか借りていきますと10万円を超えてまいります。そういう意味では、高いという感覚があるかもしれませんが、実際、利用の中で、今までもそういう料金の流れ的に、周りの施設の状況を見ながら、この値段は決まっているということでもありますので、御理解賜りたいと思えます。

議案第20号の40ページの志賀野体育施設条例の一部を改正する条例についての中で、志賀野体育館等の活動で、また料金を取るようなことがあるのかというようなことであったかと思えます。取る場合であれば、あそこで他町の人に来てする場合とか、利益を目的とする場合ということになりますので、その辺も御理解賜りたいと思えます。

議案第21号の42ページでございます。この値上げすることで、活動に影響あることがあるのかというような質疑であったかと思えます。これにつきましては、武道館自体は、剣道とか空手なんかをやっていますが、町の団体でありますので無料という形で、町内の方の団体は今のところ無料で済ませるわけです。町外からそこを貸してくれという場合には、料金が発生するという形で、町外の方には影響はありますので、その程度で、町の方には影響がないというように御理解賜りたいと思えます。

次、議案第22号の44ページでございます。紀美野町スポーツ公園条例の一部を改正する条例についてであります。利用料金を取る場合があるのかということでもあります。スポーツ公園は、利用料金は町外の方の利用が最近目覚ましく多くなってきています。大阪あたりの方々が、合宿を兼ねてサッカー等の練習に来ていますので、その辺の料金等が、町外の団体の方々ということになりますが、そういうことで料金は発生しております。利用もされております。

続いて、47ページの、議案第23号、農村総合センター条例の一部を改正する条例の、これにつきましても、利益を目的とする利用者はあるのかどうかというような質疑

であったと思います。これも、町内の方でも利益を目的とする場合は発生すると、部屋を借りる場合に。あと、ゲートゴルフ等は、以前と同じように、1人幾らという料金をいただいておりますので、以前と変わりませんので、その辺、全体的に言いますと、町内の団体へ加入された方は無料、それと学校関係にも無料ということでやっておりますので、ほぼ影響ないかと思っておりますので、御理解願いたいと思います。

○議長（小椋孝一君） 住民課長、牛居君。

○住民課長（牛居秀行君） 田代議員の再質疑にお答えを申し上げたいと思います。

議案第32号、診療所条例の一部改正に関する消費税に関する御質疑でございます。医薬材料費等でどれぐらいの影響額が、消費税増に伴って出るのかというふうなお尋ねであったかと思っております。平成26年度予算に基づいて試算をした場合でお願いいたします。平成26年度予算につきましては、医薬材料費については3,360万円、予算計上をしております。これをまず5%から8%に上がる値上げでどのような影響が出るのかということを実算してみますと、102万1,000円増額支出になるものと考えてございます。

それから、診療所会計全般にわたりまして、消費税の伴うもの、消耗品、燃料費等もでございますけれども、全体でいきますと、約143万円ぐらいの、会計からいうと、全体に支出増になるということで御理解賜りたいと存じます。

○議長（小椋孝一君） 保健福祉課長、山本君。

○保健福祉課長（山本倉造君） 49ページの、総合福祉センター条例で、どういう人が対象かということと、減免はあるのかということでございます。対象となる者につきまして、事業者や自主的な団体の方が対象になるのではないかと考えています。減免につきましては、町長が特別の理由があると認めるときは減免できるという項がありますので、そのとき、減免が出れば検討をしていくということになると思います。

28号の58ページですが、かしこ荘条例で、適用があるのかということでございますが、この利用料は合併以降、実績はございません。今後も特別にふえるということはないと思いますが、料金を設定していくことによって、かしこ荘の目的外の事業者等の申請によって、課すのが適当ということになったときに、いただける利用料というふうを考えています。

33号の長谷毛原健康センター、70ページでございます。長谷毛原健康センター条例で、これの利用対象ということになります。今、主になるのは、美里園のデイサー

ビスの利用者にに基づきまして、美里園からいただいている使用料ということが対象になると思います。これにつきましては、24年度で申しますと、延べではございますが、205日利用されています。これに今回の消費税の増額分を見込んでみますと、入浴の利用者の上昇とも合わせまして、7万1,820円程度の消費税の値上げによる利用料のアップということになると思います。

以上です。

○議長（小椋孝一君） 建設課長、山本君。

○建設課長（山本広幸君） 76ページの議案第36号の再質疑にお答えします。

手数料の引き下げについてでございますが、現行の手数料表の金額には、税込みの金額とは明記はしてはおりませんが、消費税を含んだ金額に見え、大変不明瞭な形になっておりますので、議員が言われるように、消費税法第6条の規定では、手数料は非課税となるものであることから、今回明確になるように、別表の改定を行ったものでございます。

それから、92ページの公園の利用でございますが、夜店以外に利用料をいただけるものはないかということでございます。今のところ、私の考えているところでも、いただけるものはないかなとは思っております。しかしながら、この公園につきましては、地域の人たちがたくさん利用していただいておりますので、この公園の設置目的のコミュニティの場として利用していただいております。

以上でございます。

○議長（小椋孝一君） 産業課長、大窪君。

○産業課長（大窪茂男君） 田代議員の再質疑にお答えいたします。

78ページの議案第37号ですけれども、山の家おいし条例の改正する条例ですけれども、上限を設定するというので、御理解いただきたいと思います。指定管理者が料金を決めるわけですけれども、現状では、条例どおりの料金となっております。

それから、95ページの議案第45号です。のかみふれあい公園の条例改正ですけれども、確かにキャンプ場、バーベキュー、消費税引き上げることで、利用者の御負担というのはふえるのはもっともでございます。1区画当たり幾らということで設定をしてございますので、できるだけ団体で使用していただいて、値上げ分の御負担をお願いしたいと思っております。

以上です。

○議長（小椋孝一君） 企画管財課長、増谷君。

○企画管財課長（増谷守哉君） 田代議員の再質疑にお答えさせていただきます。

議案書の93ページの議案第44号、紀美野町毛原水辺公園の改正の中で、料金の改正については上限を設定しているのかという御質疑であったかと思えます。当条例の第8条において、利用者は別表に定める使用料を納付しなければならないと規定してございます。これはもう上限ではなく、改定する料金を利用者が100%お支払いいただくということで設定してございますので、御理解をいただきたいと思えます。

以上です。

○議長（小椋孝一君） 給水条例に関して、消費税が上がったらどないなるのか、お客さんに対してはどないなるのかという説明の答弁やったと思うんやけど。

水道課長、温井君。

○水道課長（温井秀行君） 給水条例の消費税アップについての影響ということで御答弁申し上げます。

これは利用される皆さんに十分意味合いを御理解いただいて、水道を使っただき、そして、料金をいただきますように、十分に御説明申し上げ、結果、国民の福祉のほうへ反映されていく消費税でございますので、十分御理解をいただいて、水道をおいしく使っただきたい、このように考えてございます。

答弁とさせていただきます。

○議長（小椋孝一君） しばらく休憩します。

休 憩

（午前11時41分）

再 開

○議長（小椋孝一君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（午前11時41分）

○議長（小椋孝一君） 水道課長、温井君。

○水道課長（温井秀行君） 先ほどもちょっとお答えを1回目させていただきましたが、この表記の仕方について、10%に将来なるかもわからないということも、ニュース等で聞いてございます。このような表記にすれば、また10%になっても、パーセンテージが変わっても、この表記、条例をこのままさせていただけるものと思ってござ

います。表記の仕方、そのようにさせていただきました。

答弁とさせていただきます。

○議長（小椋孝一君） 3番、田代哲郎君。

○3番（田代哲郎君） 12号の紀美野町立学校施設開放条例の一部を改正、特別の理由があれば減免ということになっているんですけど、今、体育館だとか、主に体育館だと思うんですけど、特に新しくなった野上中学校体育館ですか、あんなところを使って、例えばバレーボールやとか、バスケットあるかどうかわかりませんが、以前は太極拳とか、あそこでやってたと思います。そういう活動の町内の人がやっている、いわゆる任意団体をつかって、サークルとかそんなんで行っているほとんどの活動は、減免を受けているというふうに理解してよろしいのでしょうか。この点が1点。

それから、公民館条例ですが、14号です。ほとんどの町内の人がいろいろな形でかかわっている場合は全部無料ですと。大体そうになっています。あそこにかかなり多くのサークルが活動しています。それはほとんど無料です。ただ、個人の講演をやったり、それ、ものにもよるんでしょうけど、それから、町外の人たちがあそこで何かを企画する場合は、多目的ホールを初め、有料になりますという、例えばあそこで決起集会を開くとか、そういうのは論外だと思うんですけど、まともに町外の人たちがあそこで何か文化的な活動をしようかという、非常に設備としてはあそこも評価されています。いいという評価が高いので、そういう場合に、まともにこの料金でということになるので、そのあたりがどうなのかなという、そういう町外の利用を抑制するというか、そういうあれに作用が働かないのかなという気がします。この辺についてどうなのか。

それから、星の動物園のバンガローとか山小屋の利用はほとんどないということで、いっそのこと、もうそれだったら、恐らく観望会の際の講師が泊まるとか、来てくれた人が泊まるとか、そういうことにしか利用されていないと思うんです。バンガローや、いわゆる山小屋教室としては、ほとんど利用はされていないと思うんですけど、そんなだったら、別にここで利用料設定せんでも、もう初めから無料にしといたほうがいいんじゃないかという気がします。その辺どうでしょう。

文化センターにはいろいろあれがあるので、私の認識は、あくまでも高いという感覚で、もっと安くしてくれれば自由に、例えば、今の場合だと、町が後援してもらえるか、それから特定の補助金を受けて、音楽活動をあそこでやっている団体というのは、それなりにできるんですけど、全くそういうのとは関係ない団体がやると、例えば出演料

が50万円、ギャラが50万円で、音響が照明とかも入れて音響なんか20万円近くかかって、それで、利用料が10万円から15万円ぐらいに単純計算でなるんです、あそこね。だから、それぐらいになってくると、もうとてもそんな活動はできないということになるんで、それをまた値上げするということになれば、たとえ何%かであっても、そんな機会、めったにないんやろうと思うんですけど、高いなというふうに考えますので、その辺がどうなのかをお願いします。

それから、区民センターの場合もそうですけど、町外から利用するというのは、これも恐らくないだろうと思うんですけども、もしあった場合に、町内・町外と分けられて、一応、利益を目的にそういうところを利用するというのは、それは当然、利用料が発生してもええと思うんですけど、善意のことで町外の人に来て、そこでいろいろなことをやるという場合に、町内、町外に分けられて、町外から非常に入ってくるという、そういう対象にしにくいということがあると思います。その点どうなのか。

それから、社会体育施設、志賀野のあれでも一緒ですけど、あそこで活動はみんなやって、主催しているのは、町内のそういういわゆる登録されている任意団体ですけども、ただ、それを支えているというのが、町外の人かなり多いわけです。例えばミュージシャンであつたり、そういうのはみんな町外から来ている場合があるし、そういう人たちがあそこで何かまた自分らでもやろうかというような形になったときにどうなるのか、その辺のことはちょっと心配するのであれです。

それから、スポーツ公園も町内・町外というふうになって、以前にテニスコートの使用料について、町内と町外で分けるようなことをして、今はどうなっているかわからないけど、分けるようなことを考えてほしくない、平等に扱ってよという話がありまして、その後どうなったかわからないんですけど、この町って、町外からたくさんの人に来て、この町のよさを知ってもらわなあかんということは、それはふれあいマラソンでも一緒だし、祭りでも一緒やと思うんですけども、そういう場合のあれで、やっぱり町外の人にも門戸を開いていくということが必要ではないかと思います。

あとは、一番気になるのが、いわゆる給水条例なんですけど、初めから10%になるということで、するかどうかは、まだ決められてないのに、それも給水条例の、いわゆる46号の給水条例ですけど、10%になったら10%になるじゃなくて、初めからそれを自治体として想定して、消費税8%は4月1日から8%になるというふうにもう決まっているという、私はそれでも反対しているんですけど、10%にならないうちから、

10%を想定してという、これだともう際限なく、この条文だと、上がっていけば、それなら15%になったら、15%になってしまいますので、その点についてどうなのか、お答え願いたい。これだったら10%になったら自動的に10%になるんやないですかということを懸念するわけですけど、その点についてのお答えをお願いします。

○議長（小椋孝一君） 町長、寺本君。

○町長（寺本光嘉君） 田代議員の再々質疑の、ちょっと基本的なことだけお答えします。

先ほど来、今、お話を聞いておりましたら、町内・町外を分けるのがおかしいのじゃないか、こういうふうな御意見でありましたが、私は全く反対で、やはり町内で活動している団体を支援し、そして援助をしていくというのがこれは基本です。したがって、町外の方々につきましては、やはり町外の方々のそういう活動拠点があるんですから、そうしたことで取り扱っていきたい。そして、また、この町内の子供らに影響のあるようなことにつきましても、やはり町長の裁量によるというような項目がありますので、その中で、やはり考えていくべきではないかと、私はそのように思います。

それと、給水のほうの10%を視野に入れているという話ですが、現時点では視野には入れておりません。あくまでも8%ということをございますので、御理解を賜りたい。

また、その他の施設につきましても、やはり議員御承知のとおり、維持管理費というのはそれぞれ要っております。これがやはり町民の皆さん方の税金でやっております。したがって、やはり町内と町外の差をつける、また、町内については手厚い補助をしていく、支援をしていく、これが基本であろうと思いますので、ひとつ御理解を賜りたいと思います。

あと詳細については、各課長から答弁させます。

○議長（小椋孝一君） 総務学事課長、中尾君。

○総務学事課長（中尾隆司君） 私のほうから、議案第12号の関係で、学校開放条例の部分でございます。議員言われるように、体育館等でバレー、バスケット等やっていると、それについてはどうなのかということなんですけど、社会体育登録団体というのがございます。そこへ登録されている団体につきましては、減免、免除を受けられるということで、今、というような形でやっておりますので、御理解のほどよろしくをお願いします。

○議長（小椋孝一君） 生涯学習課長、岩田君。

○生涯学習課長（岩田貞二君） 田代議員の再々質疑の内容で、ほとんど町長がお答えくださったので、私のほうから、この文化センターとか、こういう建物の利用はどういうことかと言うと、学習活動を促進して、もって文化及び芸術の向上・振興に資するために文化センターを設置するとか、町民の生涯のということが条例の表書きには、書かれております。以上、そういうことで御理解賜りますようお願いいたします。

○議長（小椋孝一君） しばらく休憩します。

休 憩

（午前 11時55分）

再 開

○議長（小椋孝一君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（午後 1時30分）

○議長（小椋孝一君） ほかに質疑ありませんか。

13番、美濃良和君。

（13番 美濃良和君 登壇）

○13番（美濃良和君） 若干、お聞きしたいと思います。

先ほど田代議員のほうでいろいろと質疑していただいたんですが、その中で、関連するんですけども、38ページにセミナーハウスがありますよね。1枚めくって39ページの13条の第3項中ということで、先ほどから話になっている上限になっているんだよという、こういうふうな条文になっているんですよ。それに対して、答弁の中で、出てまいりました、80ページにある

○議長（小椋孝一君） 美濃議員、19号は、これに入ってません。

○13番（美濃良和君） セミナーハウスは入ってないか、置かまして。80ページにかじか荘がありますよね。その中で、上限であるということが言われたと思います。かじか荘、それから78ページの山の家、また水辺公園というのが93ページですか、それぞれあって、これが、皆それぞれ上限があるんですよという答弁であったと思います。これについて、条例の中で、この上限であると、そういう文言をセミナーの話、審議は先としてもですね、ここに書かれているというふうに、ほかのかじか荘、山の家、水辺公園についても、条文の中でうたうべきではないかと、このように思いますが、どうでしょうか。

それから、先ほど田代議員の質疑の中で、道路占用条例の一部ということで、83ページですか、がありました。83ページ、道路占用条例、それから

○議長（小椋孝一君） 議案第39号は今回にはありません。

○13番（美濃良和君） 入ってないか、済みません。

じゃあ、そのもう1個前ですね。水道と給水条例の98ページと、それから法定外公共物、これは入っていましたっけ。これもありましたね。法定外公共物管理条例の一部ということで、この2件についてですけども、先ほどの給水条例と同じく、町長はそうではないということであったんですが、しかし、10%に国の法律が変わったら、自動的にこれは、それではもう一遍、こうなっているけれども、皆さん、10%にしますよって、それ賛成か反対かといっても、これは議会は無効になるんですね、議会の審議とか態度は。それはやっぱりおかしいと思うんですよ。5%ということについてであったのを変えていくという、8%にしていくということだったら、一つ一つを議会に尋ねていくと、これはあるべき姿ではないかと思うんですよ。そうしなければ、一括して、また先ほどの質疑にもありましたけど、20%になることも想定して、これ賛成か反対か判断しなければならんということは、これはおかしいと思うんです。あくまでも今言われているのが8%にすることについてどうかということですから、それはそれでやらなきゃならんというふうに、これはそうではありませんか。やっぱり議会として、一つ一つ判断を求めるといことは、議会ということは町民ですから、要するに議会制民主主義のそういう段階だと思うんですよ。その辺について、どうであるかお聞きしたいと思います。

（13番 美濃良和君 降壇）

○議長（小椋孝一君） 企画管財課長、増谷君。

（企画管財課長 増谷守哉君 登壇）

○企画管財課長（増谷守哉君） それでは、美濃議員の質疑にお答えさせていただきます。

紀美野町美里の湯かじか荘、それから紀美野町毛原水辺公園の条例の中に、指定管理者に徴収される利用料の上限額であるという項目を入れよということでございます。美里の湯かじか荘の条例の13条に、その項目を掲載させていただいております。

それから、紀美野町毛原水辺公園の条例の中には、第18条の2項にその趣旨の項目を記載させていただいておりますので、確認のほうよろしくお聞きしたいと思います。

(企画管財課長 増谷守哉君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 産業課長、大窪君。

(産業課長 大窪茂男君 登壇)

○産業課長 (大窪茂男君) 美濃議員の御質疑にお答えいたします。

78ページの議案第37号の山の家おいし条例の改正でございますが、紀美野町山の家おいし条例の第10条の7項に、別表に定める額の範囲内において指定管理者が決めると書いてございますので、よろしくお願ひしたいと思います。

(産業課長 大窪茂男君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 水道課長、温井君。

(水道課長 温井秀行君 登壇)

○水道課長 (温井秀行君) 美濃議員の御質疑にお答えをさせていただきます。

98ページの給水条例でございます。先ほども町長から御答弁していただきましたが、この内容は8%ということでございます。料金についての表記は、26条、32条は別表で条例に記載をさせていただいてございます。

以上、答弁とさせていただきます。

(水道課長 温井秀行君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 建設課長、山本君。

(建設課長 山本広幸君 登壇)

○建設課長 (山本広幸君) 議案第40号の法定外公共物管理条例の一部の利用金額の改定でございますが、議員言われるように、別表で消費税を含む金額を表記していたものを、今回その表記を除き、備考の欄に非課税とされるものを除くものについては、占用料の額はこの表に規定する額に消費税及び地方消費税相当額を加算した額とするものと文言で書いております。議員言われるように、一つ一つ審議していくのが常識かと思われるが、括弧書きで消費税の今現行のものが書かれているのですが、道路占用料につきましては、今現在、町がいただいている占用料につきましては、ほとんど非課税のものとなっております。それというのも、非課税というのは、道路の敷地を貸し付けるのに、1カ月以上連続しているものについては非課税となっているものでございます。今、消費税を含んだ料金をいただいているものではございませんので、それでこういう表記をすれば、不明瞭であるために、明確な表にしたかったから、こういう書き方にしたものでございます。御理解賜りたいと思います。

(建設課長 山本広幸君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 13番、美濃良和君。

○13番 (美濃良和君) 旧の条例のこの改正した部分以外に、かじか荘とかそういうところが上限とするというふうに書いていたわけですね。ちょっと勉強不足で申しわけないと思います。

今、答弁いただいたんですけども、やはり、しまいにはもう平行線になってしまうのかもわかりませんが、やっぱり消費税は、現在8%、ですから、8%ならば結構だけでも、10%はやっぱりぐあい悪いというふうな議員もおられるかと思います。やっぱり一個一個そういうところで議会にそういうことを諮っていくということが、やはり望まれる姿だと思うんですね。そういうことで、何でしたら修正とか、そういうことは必要ではないかというふうに思いますが、その辺、もう一度お聞きしたいと思います。

○議長 (小椋孝一君) しばらく休憩します。

休 憩

(午後 1時43分)

再 開

○議長 (小椋孝一君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

(午後 1時43分)

○議長 (小椋孝一君) 町長、寺本君。

○町長 (寺本光嘉君) 美濃議員の再々質疑にお答えをいたしたいと思います。

今、我々はこの議会で、100分の10ですか、10%消費税という議論が、そこまではまだいかんと思うんです。国でもそこまでしてないのに、我々議会でこういう議論をすること自体がおかしいんで、今は既成事実として8%ということではしていますので、ひとつ御理解を賜りたいと思います。

以上です。

○議長 (小椋孝一君) 13番、美濃良和君。

○13番 (美濃良和君) もう平行線になるかなと思います。もう一度、申し上げたいと思うんですが、町長言われるのは、8%が言われていることだから8%なんだと。じゃあ、次に、また、この秋になったら、もう一遍、10%にするかどうかというのを国のほうで話し合いがされて、景気がええか悪いかという、でっち上げですけどね、県

内、景気ええことないのに、ええとした形で8%に上げたんですけど、また、この秋にそういう形で10%にするかどうかの話になってくる。多くの反対が強いんですけども、もし、そういうふうに景気が悪いのにええというふうな形にして、上げていった場合に、それじゃあ、10%になったときに、もう一度こういう提案がされるのかどうか。されないと思うんですよ。

ですから、今は確かに8%の話なんですけども、ここで了解した場合に、次に10%になったから、あれはもとに戻せということにならないと、そういうふうになっていくと思うんですが、そういうことで、やはり一個一個を町民に諮っていくと、そういうことが求められていると思うんです。これはもう最後ですから、3回目ですけど、よろしくをお願いします。

○議長（小椋孝一君） 町長、寺本君。

○町長（寺本光嘉君） 美濃議員の再々質疑にお答えをいたしますが、国のほうで、この8%、それから10%という、そういうふうなことを決めてくるわけでございますので、それが決められた暁には、また、この議会でそれを議論したらいいと思うんですが、今からそれを、先もって、議論すること自体がおかしいと思うんで、また、国の方針が出された暁に、それについてはまた議論していただいたらよろしいかと思っておりますので、御理解賜りたいと思っております。

○議長（小椋孝一君） しばらく休憩します。

休 憩

（午後 1時46分）

再 開

○議長（小椋孝一君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（午後 1時55分）

○議長（小椋孝一君） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで質疑を終わります。これから議案第11号に対し討論を行います。

反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで討論を終わります。

これから議案第11号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第11号は原案のとおり可決されました。

これから議案第12号に対し討論を行います。

反対討論を行います。

3番、田代哲郎君。

（3番 田代哲郎君 登壇）

○3番（田代哲郎君） 議案第12号、紀美野町立学校施設開放条例の一部を改正する条例について討論を行います。

あくまでも消費税の引き上げ、率の引き上げというのは自治体の責任ではありません。国で決めたことで、しかし、この場合も町内のほとんどの登録している団体の活動にはかからないんだということでした。でも、登録されていない個人や団体が善意でいろいろな催しをしようという場合は、やはり今までの条例にあったような料金で利用してもらうことはできません。消費税としてかかってきます。

これはあくまでもそんなに多い事例ではないと思うんですけども、いずれにしても、この町の町民一人一人の財政力の水準というのは、県下で低いほうから数えたほうが早いというぐらいに困窮しているというか、非常に財政力の弱い状態が、所得水準が低い状態が続いています。そういうことがますますそういうところで、消費税が引き上げられるということで負担を強いることはいかかなものかと思います。国のほうが決めてきたことを、自治体がやらんというわけにはいかんというのもそうでしょうが、ある場合には、やっぱりそういう負担増から住民を守るという視点も欲しいなというふうに考え、私たちが国民のそういった困難に寄り添うということで、消費税に反対していますし、この条例改正にも反対いたします。

以上です。

（3番 田代哲郎君 降壇）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 反対討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで討論を終わります。

これから議案第12号を採決します。

この採決は、起立によって行います。

議案第12号は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

（起立多数）

○議長（小椋孝一君） 起立多数です。

したがって、議案第12号は、原案のとおり可決されました。

これから議案第14号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

3番、田代哲郎君。

（3番 田代哲郎君 登壇）

○3番（田代哲郎君） 同じことですが、あくまでも消費税率の引き上げは、自治体の責任ではありません。しかし、たとえそれが町外の人であっても、規定の料金で利用できる場所を、消費税部分が上乗せされるというのは、そういう暮らしに圧迫する直接の負担をできるだけ軽くしようという視点に立ってほしいなということを思います。国民の困難に寄り添って、消費税の増税に私たちは反対してきましたが、この条例改正にも反対いたします。

以上です。

（3番 田代哲郎君 降壇）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 反対討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) これで討論を終わります。

これから議案第14号を採決します。

この採決は、起立によって行います。

議案第14号は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

(起立多数)

○議長 (小椋孝一君) 起立多数です。

したがって、議案第14号は原案のとおり可決されました。

これから議案第15号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

3番、田代哲郎君。

(3番 田代哲郎君 登壇)

○3番 (田代哲郎君) 15号、紀美野町自然体験世代交流センター条例の一部を改正する条例に反対討論を行います。

自治体の責任ではなく、しかもほとんどの活動が町内の方の活動であれば負担は求めているということですが、ここも町外からの活動でいろいろな子供たちの交流活動とかは町外から来てやることがありますので、そういう人たちは、規定の料金ではなく、上乘せされた料金で利用するということになります。町内であれ町外であれ、特にこうした施設での活動というのは、非常にこの町特有の、いわゆる自慢できるというか、そういう活動の場だと思えますので、そういう負担はできるだけ緩和していくという視点に立ってほしいという願いもあり、また、国民の苦難に寄り添うという立場から私たちは消費税増税に反対し続けています。したがって、この条例改正案にも反対いたします。以上です。

(3番 田代哲郎君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 反対討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長（小椋孝一君）　　これで討論を終わります。

これから議案第15号を採決します。

この採決は、起立によって行います。

議案第15号は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

（起立多数）

○議長（小椋孝一君）　　起立多数です。

したがって、議案第15号は原案のとおり可決されました。

これから議案第16号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

3番、田代哲郎君。

（3番 田代哲郎君 登壇）

○3番（田代哲郎君）　　消費税率の引き上げは自治体の責任ではないにしても、それからまた、天文台の管理運営にはかなりの一般会計からの財源が出費されていることも承知しています。しかし、いわゆる教育的な活動としての、そういう活動に、これは町内・町外そんなに違いはないと思いますので、負担増を求めるということは、活動の意欲をそぎ、子供たちの学ぶ意欲を低下させるということにならないかという懸念もあります。この施設も町が誇れる活動の場ですから、できるだけそうした消費税に伴う負担増ということのないようにしてほしいなという、それから、そういうことで、消費税負担増がないように、私たちは反対続けていますし、この条例改正案にも、そういう立場から反対いたします。

以上です。

（3番 田代哲郎君 降壇）

○議長（小椋孝一君）　　賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君）　　反対討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君）　　賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君）　　これで討論を終わります。

これから議案第16号を採決します。

この採決は、起立によって行います。

議案第16号は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

(起立多数)

○議長(小椋孝一君) 起立多数です。

したがって、議案第16号は原案のとおり可決されました。

これから議案第17号に対して、討論を行います。

反対討論を行います。

3番、田代哲郎君。

(3番 田代哲郎君 登壇)

○3番(田代哲郎君) 町は文化センターの活動を守るために、かなりの経費を支出しているし、消費税率の引き上げに伴い、運営経費がかなり圧迫されるというのは理解できますが、先ほどから申しているように、収益を上げるためではなく、純粋な音楽を楽しみたいという企画などの場合でも、利用料がかなり高過ぎるとの意見が今でもあります。そのために断念したケースもあります。したがって、その上に引き上げれば、町民の自主的な文化活動にますます困難になると考えますし、そうした意味から、消費税増税に反対し、これ以上の引き上げになる条例改正案に反対せざるを得ません。

以上です。

(3番 田代哲郎君 降壇)

○議長(小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 反対討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) これで討論を終わります。

これから議案第17号を採決します。

この採決は、起立によって行います。

議案第17号は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

(起立多数)

○議長(小椋孝一君) 起立多数です。

したがって、議案第17号は原案のとおり可決されました。

これから議案第18号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

3番、田代哲郎君。

(3番 田代哲郎君 登壇)

○3番(田代哲郎君) これも同じようなことで、消費税率の引き上げに町には責任ありませんが、こういう活動の場での活動に、たとえ町外のあれでも消費税を課すということは、そういう活動の意欲に水を差すということにならないかという、町の姿勢としてそうした立場ではなく、消費税の増税から町民の負担をできるだけ和らげていくということが必要ではないかと思います。国民の苦難に寄り添うという立場で、私たちは消費税増税に反対していますし、この条例改正にも反対いたします。

以上です。

(3番 田代哲郎君 降壇)

○議長(小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 反対討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) これで討論を終わります。

これから議案第18号を採決します。

この採決は、起立によって行います。

議案第18号は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(起立多数)

○議長(小椋孝一君) 起立多数です。

したがって、議案第18号は原案のとおり可決されました。

これから議案第20号に対して、討論を行います。

反対討論を行います。

3番、田代哲郎君。

(3番 田代哲郎君 登壇)

○3番（田代哲郎君） 紀美野町社会体育施設条例の一部を改正する条例に反対討論を行います。

何度も申し上げますように、消費税率の引き上げは、自治体は責任をとるべきことではありません。これは、いわゆる地域おこしに主に利用されている志賀野小学校の体育館と運動場に対する、現状では町内の団体がそういう活動を中心に行っておりますので、私もそこへは何回も参加させていただきました。ただ、町外のそういう人たちが、例えば運動場であるとか、そこでイベントをやりたいというような場合には、いわゆる使用料というのが発生しますし、それにさらに消費税が上乘せされるという形になります。どうしてもやっぱりそういう施設での活動が大切であり、そういうことを守るという意味からも、消費税の引き上げに反対し、同時にこの条例改正案にも反対いたします。

以上です。

（3番 田代哲郎君 降壇）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 反対討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで討論を終わります。

これから議案第20号を採決します。

この採決は、起立によって行います。

議案第20号は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

（起立多数）

○議長（小椋孝一君） 起立多数です。

したがって、議案第20号は原案のとおり可決されました。

これから議案第21号に対して、討論を行います。

反対討論を行います。

3番、田代哲郎君。

（3番 田代哲郎君 登壇）

○3番（田代哲郎君） 議案第21号、紀美野町武道館条例の一部を改正する条例

に反対する立場で討論を行います。

この施設は、主に剣道であるとか、そういう武道に利用されている、子供たちが利用しているということで、おおむね登録されている団体なので、それに対する町内の団体には利用料は取ってないので、そうしたことはないということですが、ただ、町外からのそこを利用したいという希望があった場合は、今までだったら所定の利用料だけなのに、消費税の分が上乗せして徴収されるということになります。何度も申し上げますとおり、やはり消費税ということから、負担増からそういう活動を守っていくという立場に立てば、そういうことをできるだけ消費税は取らないという立場に立ってほしいと思いますし、そういう立場で消費税の引き上げに反対して、同時に、あわせてこの条例改正案には反対いたします。

以上です。

(3番 田代哲郎君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 反対討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) これで討論を終わります。

これから議案第21号を採決します。

この採決は、起立によって行います。

議案第21号は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

(起立多数)

○議長 (小椋孝一君) 起立多数です。

したがって、議案第21号は原案のとおり可決されました。

これから議案第22号に対して、討論を行います。

反対討論を行います。

3番、田代哲郎君。

(3番 田代哲郎君 登壇)

○3番 (田代哲郎君) 紀美野町スポーツ公園条例の一部を改正する条例案に反対

の立場で討論を行います。

この施設は、いわゆる町外からの利用もかなりある施設で、特に国体のイベントやブレイブメント、それから野球の練習とかは、かなり町外からも利用があると思います。町内と町外では、利用料が分けられるということですが、特に町外であったにしても、そういう消費税を上乗せするということがなければ、規定の料金で利用できるはずであつたろうと思いますが、そうしたことを上乗せして、そういう活動にブレーキをかけることにならないかというふうに心配し、懸念もいたします。そうした立場から、消費税の引き上げに反対し、同時にこの条例改正には反対いたします。

以上です。

(3番 田代哲郎君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 反対討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) これで討論を終わります。

これから議案第22号を採決します。

この採決は、起立によって行います。

議案第22号は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

(起立多数)

○議長 (小椋孝一君) 起立多数です。

したがって、議案第22号は原案のとおり可決されました。

これから議案第23号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

3番、田代哲郎君。

(3番 田代哲郎君 登壇)

○3番 (田代哲郎君) 紀美野町農村総合センター条例の一部を改正する条例に反対の立場で討論を行います。

これもやはり同じように、こういう施設での活動への意欲をそぐもので、消費税増税

が、消費税の引き上げは自治体の責任がないにしても、そういうところに消費税分を上乗せすることは、そうした活動への、こういう施設での活動への意欲をそぐものになると懸念します。そういった立場で消費税率の引き上げに反対するとあわせて、この条例改正には反対いたします。

以上です。

(3番 田代哲郎君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

9番、仲尾元雄君。

(9番 仲尾元雄君 登壇)

○9番 (仲尾元雄君) 紀美野町農村総合センター条例の一部を改正する条例について賛成いたします。と申しますのは、新旧対照表の58ページ、現行のゲートゴルフ場、個人使用では、町内の人が1人110円、町外は1人220円と、町内外を区別することになっておりましたが、新しい使用料では、そういった区別がなく、皆、一律になっております。これは非常にいいことで、一緒にゲートゴルフをしにいったときに、海南市の方と紀美野町の方が支払うお金まで違うというのは、やはり変な違和感があつたわけですけども、同じ料金になったので、大変結構だと思います。したがって賛成いたします。

(9番 仲尾元雄君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 反対討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) これで討論を終わります。

これから議案第23号を採決します。

この採決は、起立によって行います。

議案第23号は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

(起立多数)

○議長 (小椋孝一君) 起立多数です。

したがって、議案第23号は原案のとおり可決されました。

これから議案第24号に対して、討論を行います。

反対討論を行います。

3番、田代哲郎君。

(3番 田代哲郎君 登壇)

○3番(田代哲郎君) 紀美野町総合福祉センター条例の一部を改正する条例に反対の立場で討論を行います。

この施設も同じようなことで、消費税というのが自治体の責任ではないにしても、こうした場所を使っての活動に対する意欲をそぐものではないかと懸念いたします。そういった立場で、消費税の引き上げに反対し、あわせてこの条例改正に反対いたします。以上です。

(3番 田代哲郎君 降壇)

○議長(小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

12番、美野勝男君。

(12番 美野勝男君 登壇)

○12番(美野勝男君) このことについては国会で論議を尽くして、主に増大する保健福祉の分野の財源に使用しようとしてきたものであります。税は確かに低いほうがよいわけですが、他局面から見て、そうはいかない財政状況もわかる点があり、町は国の実施要綱に従い、執行していかなければならないのではないかと思います。賛成をいたします。

(12番 美野勝男君 降壇)

○議長(小椋孝一君) 反対討論ありませんか。

13番、美濃良和君。

(13番 美濃良和君 登壇)

○13番(美濃良和君) 私は反対の立ち場から討論を行いたいと思います。

今、国の財源等のお話が先ほどからあったわけでございますけれども、我々は、福祉総合センター、こういうところで活動をしながら、福祉の向上のために一生懸命日夜、町職員、またはボランティアの方々が活動していただいているわけでありまして、こういうところから、消費税を増税した形で取りまして、それがどこに使われるのか。例えば福祉のために使われるようならわかるんですけども、今審議されている中身については、少しもそういうところには使われておらない。結局、医療の面でも、あるいは福祉の面でも、後退のところを審議されている。どこがもうかるのかというと、今どンドン

もうかって、もうかってもうかって仕方ない大企業が、いろいろな面でその私たちの本当に血のにじむ形で納めた税金が使われていくと、こういうところに大きな問題があると思います。

私たちはあくまでも町内の皆さん方が福祉のために、健康のために、少しでも町民の幸せのために活動していくために、消費税を増税した形で徴収するという、そういう形でやってはならないというふうに思います。そういう立ち場からこの条例案に反対いたします。

(13番 美濃良和君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 反対討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) これで討論を終わります。

これから議案第24号を採決します。

この採決は、起立によって行います。

議案第24号は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

(起立多数)

○議長 (小椋孝一君) 起立多数です。

したがって、議案第24号は原案のとおり可決されました。

これから議案第28号に対して、討論を行います。

反対討論を行います。

3番、田代哲郎君。

(3番 田代哲郎君 登壇)

○3番 (田代哲郎君) 紀美野町老人憩の家かしこ荘条例の一部を改正する条例ということで、反対の立場で討論します。

消費税率の引き上げというのは、もちろん自治体の責任ではありません。しかし、その主な目的が社会保障のためということで当初は言われていましたが、実際には社会保障の改悪で、国民には、例えば年金の削減であるとか、医療費、それから高齢者の医療

等で国民が負担を求められる部分は3兆円、消費税の増税分から社会保障に回される分は2.8兆円ということで、国民の負担のほうが上回っていることを見ても、そういうことが言えると思います。

また、今まで社会保障に繰り入れられていた一般財源が、このことにより社会保障から引き揚げるということも予定されています。それは国の政治のあり方の問題ですが、この施設は、老人憩の家というように、いわゆる高齢者のためのふれあいサロンであるとか、老人会の活動であるとか、そういうところに今用いられています。その分については、町内の各任意団体であるとかいうことで、利用料は発生していないようですが、町外の老人の方たちがこれを借りたいよということで来れば、規定の利用料のほかに、また消費税を上乗せするという形になります。したがって、やはり消費税による負担を町はできるだけ緩和するように、そういう立場に立ってほしいなという願いも込め、消費税の引き上げに反対し、この条例改正にも反対いたします。

以上です。

(3番 田代哲郎君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 反対討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) これで討論を終わります。

これから議案第28号を採決します。

この採決は、起立によって行います。

議案第28号は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

(起立多数)

○議長 (小椋孝一君) 起立多数です。

したがって、議案第28号は原案のとおり可決されました。

これから議案第32号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

3番、田代哲郎君。

(3番 田代哲郎君 登壇)

○3番(田代哲郎君) 紀美野町国民健康保険診療所条例の一部を改正する条例に反対の立場で討論をいたします。

診療所の運営費には、かなりの一般財源も繰り入れられていますし、先ほどお伺いしたところでは、消費税による負担増と医薬剤料費等の負担増も大変なものようです。だから、そういうことで、主に文書料とか診断書料を引き上げようという気持ちは重々わかりますが、しかし、先ほどから述べておりますように、やはり所得の低いという、特にこの運営というのは、いわゆる旧美里地域の非常に過疎化した地域ですし、そういうところに細々と生活しておられる町民の方に、しかもほとんどが高齢者にそうした負担を求めることは、やはり消費税のそういう負担から町はやっぱり町民を守っていくということが筋ではないかと思えます。国民の苦難に寄り添うという立場で、消費税増税に反対し続けている立場から、この条例改正にも反対いたします。

以上です。

(3番 田代哲郎君 降壇)

○議長(小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 反対討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) これで討論を終わります。

これから議案第32号を採決します。

この採決は、起立によって行います。

議案第32号は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

(起立多数)

○議長(小椋孝一君) 起立多数です。

したがって、議案第32号は原案のとおり可決されました。

これから議案第33号に対して、討論を行います。

反対討論を行います。

3番、田代哲郎君。

(3番 田代哲郎君 登壇)

○3番(田代哲郎君) 議案第33号、毛原健康センター条例の一部を改正する条例の改正に反対する立場で討論を行います。

先ほどから申しましたように、消費税率の引き上げは自治体の責任ではありません。しかも、このあれは、各室使用料のみの引き上げですが、しかも、美里園デイサービスというところの負担もあるようです。ただ、そういう負担増が地域の衰退に結びつかないという保障はありません。そうした立ち場から消費税の引き上げに反対して、この条例改正に反対いたします。

以上です。

(3番 田代哲郎君 降壇)

○議長(小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 反対討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) これで討論を終わります。

これから議案第33号を採決します。

この採決は、起立によって行います。

議案第33号は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

(起立多数)

○議長(小椋孝一君) 起立多数です。

したがって、議案第33号は原案のとおり可決されました。

これから議案第34号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

3番、田代哲郎君。

(3番 田代哲郎君 登壇)

○3番(田代哲郎君) 議案第34号、紀美野町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例に反対の立場で討論を行います。

これは、いわゆる日常の一般ごみではなくて、直接持ち込む税の負担ですが、やはり

所得がとても低いこの町の町民に、そうした負担増を求めれば、生活を圧迫し、ひいては地域の衰退に結びつくというふうに考えます。そういった立場から、消費税率の引き上げに反対し、あわせてこの条例改正に反対いたします。

以上です。

(3番 田代哲郎君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 反対討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) これで討論を終わります。

これから議案第34号を採決します。

この採決は、起立によって行います。

議案第34号は、原案のとおり決定することに賛成の方の起立を願います。

(起立多数)

○議長 (小椋孝一君) 起立多数です。

したがって、議案第34号は原案のとおり可決されました。

これから議案第35号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

3番、田代哲郎君。

(3番 田代哲郎君 登壇)

○3番 (田代哲郎君) 議案第35号、紀美野町放棄自動車等の防止及び処理に関する条例の一部を改正する条例の改正に反対する立場で討論を行います。

先ほどの質問で、料金は自転車と原動機付自転車、並びに自動二輪ということで、自動車の撤去は実費でお願いしますということですが、これもしかして負担増であることに変わりはないと思います。いずれにしても、消費税が上がるということでは、自治体の責任ではありませんが、地域に住んでおられる住民の皆様に負担を求めるということは、やはり地域の衰退に結びついていくということにつながります。そうした立場から、消費税の引き上げには反対し、あわせてこの条例改正に反対いたします。

(3番 田代哲郎君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 反対討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) これで討論を終わります。

これから議案第35号を採決します。

この採決は、起立によって行います。

議案第35号は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

(起立多数)

○議長 (小椋孝一君) 起立多数です。

したがって、議案第35号は原案のとおり可決されました。

これから議案第36号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

3番、田代哲郎君。

(3番 田代哲郎君 登壇)

○3番 (田代哲郎君) 紀美野町農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例に反対の立場で討論を行います。

この施設というのは、下水施設なので、平・吉見地域に住んでいる加入している方々は、直接は生活にかかわる費用負担になるわけです。そういう、このまち全員がそうではありませんが、所得の低い町民の住民が多いこの町で、そういうふうに行政が負担増を求めるといふ姿勢は、生活意欲に直接結びついていくものではないかというふうに考え、そうした立場で、消費税の引き上げにも反対し、あわせてこの条例改正に反対いたします。

以上です。

(3番 田代哲郎君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長（小椋孝一君） 反対討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで討論を終わります。

これから議案第36号を採決します。

この採決は、起立によって行います。

議案第36号は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

（起立多数）

○議長（小椋孝一君） 起立多数です。

したがって、議案第36号は原案のとおり可決されました。

これから議案第37号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで討論を終わります。

これから議案第37号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第37号は原案のとおり可決されました。

これから議案第38号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで討論を終わります。

これから議案第38号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第38号は原案のとおり可決されました。

これから議案第40号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) これで討論を終わります。

これから議案第40号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第40号は原案のとおり可決されました。

これから議案第41号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

3番、田代哲郎君。

(3番 田代哲郎君 登壇)

○3番 (田代哲郎君) 議案第41号、紀美野町建設残土処理場条例の一部を改正する条例に反対の立場で討論を行います。

消費税が上がったということでの町の責任はありませんが、使用料の引き上げは地域の主に業者の方が利用するもので、やはりそういう利用しやすいということが前提だと思えます。地域経済の衰退に結びつかないとは言えず、そういった立場で、消費税の引き上げにも反対し、この条例改正に反対するものです。

以上です。

(3番 田代哲郎君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 反対討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで討論を終わります。

これから議案第41号を採決します。

この採決は、起立によって行います。

議案第41号は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

（起立多数）

○議長（小椋孝一君） 起立多数です。

したがって、議案第41号は原案のとおり可決されました。

これから議案第42号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

3番、田代哲郎君。

（3番 田代哲郎君 登壇）

○3番（田代哲郎君） 議案第42号、紀美野町営駐車場条例の一部を改正する条例ということで、反対討論を行います。

県営住宅の駐車場ということで、ほとんど滞納はないということですが、消費税引き上げによる引き上げで、やっぱり居住者の負担を求めることになり、入居者は嫌でもその消費税分を支払わなければならないことになります。そうした生活に影響を及ぼしかねません。したがって、消費税の引き上げに反対し、この条例改正に反対いたします。

以上です。

（3番 田代哲郎君 降壇）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 反対討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで討論を終わります。

これから議案第42号を採決します。

この採決は、起立によって行います。

議案第42号は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

(起立多数)

○議長(小椋孝一君) 起立多数です。

したがって、議案第42号は原案のとおり可決されました。

これから議案第43号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

3番、田代哲郎君。

(3番 田代哲郎君 登壇)

○3番(田代哲郎君) 紀美野町公園条例の一部を改正する条例に対して反対討論を行います。

くすのき公園というのは、ほとんど、答弁にあったように、夜店以外には使われてないようです。ただ、その夜店というのは、やっぱり子供たちが非常に楽しみにしていて、そこでの業者の方の利用料を引き上げるというのは、業者の方は町内の方ではないのですけども、やはりそういう場所で営業がしやすいようにという配慮があってもいいのではないかと思います。そういうことが、やっぱり地域の活力に影響しないという保障はないし、したがって消費税の引き上げにも反対し、この条例改正に反対いたします。

以上です。

(3番 田代哲郎君 降壇)

○議長(小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 反対討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) これで討論を終わります。

これから議案第43号を採決します。

この採決は、起立によって行います。

議案第43号は、原案のとおり決定することに賛成の方の起立を願います。

(起立多数)

○議長(小椋孝一君) 起立多数です。

したがって、議案第43号は原案のとおり可決されました。

これから議案第44号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) これで討論を終わります。

これから議案第44号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第44号は原案のとおり可決されました。

これから議案第45号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

3番、田代哲郎君。

(3番 田代哲郎君 登壇)

○3番(田代哲郎君) 議案第45号は、紀美野町のかみふれあい公園条例の一部を改正する条例です。主にオートキャンプ場と焼き肉サイトの使用料の引き上げということで、消費税による引き上げということになります。もちろんこれは消費税の課税対象なんですけど、そのことによって利用者がどの程度減るかとかいうことは、見てみないとわからないということもあるでしょうけれども、やっぱりよく利用されている施設なので、利用者減に結びつかないとは言えず、それから、これは紀美野町民であっても同じ料金ですから、町民の暮らしを守る立場でも、消費税の引き上げに反対し、あわせてこの条例の改正に反対いたします。

以上です。

(3番 田代哲郎君 降壇)

○議長(小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 反対討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで討論を終わります。

これから議案第45号を採決します。

この採決は、起立によって行います。

議案第45号は、原案のとおり決定することに賛成の方の起立を願います。

（起立多数）

○議長（小椋孝一君） 起立多数です。

したがって、議案第45号は原案のとおり可決されました。

これから議案第46号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

3番、田代哲郎君。

（3番 田代哲郎君 登壇）

○3番（田代哲郎君） 議案第46号、紀美野町給水条例の一部を改正する条例に反対の立場で討論を行います。

何度も言いますが、消費税の税率の引き上げというのは自治体の責任で決められたものではありません。それはそのとおりです。しかし、この水道料金というのは、全ての水道に加入している世帯の生活費にそのまま係ってくる条例です。生活の営みに重大な影響を及ぼします。重ねて言いますが、先ほど8%ということで論議して、先々で10%になったら、また論議すればいいということですが、この条文どおりにいけば、一旦、きょう決めれば、10%になってもそのまま消費税率が反映されるというような仕組みになっています。そういうことも含めて、住民生活を守る立場で、消費税の引き上げに反対し、この条例改正に反対いたします。

以上です。

（3番 田代哲郎君 降壇）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 反対討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) これで討論を終わります。

これから議案第46号を採決します。

この採決は、起立によって行います。

議案第46号は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

(起立多数)

○議長 (小椋孝一君) 起立多数です。

したがって、議案第46号は原案のとおり可決されました。

しばらく休憩します。

休 憩

(午後 2時55分)

再 開

○議長 (小椋孝一君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

(午後 3時16分)

◎日程第44 議案第13号 紀美野町社会教育委員設置条例の一部を改正する条例について

○議長 (小椋孝一君) 日程第44、議案第13号、紀美野町社会教育委員設置条例の一部を改正する条例について議題とします。

これから質疑を行います。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) これで質疑を終わります。

これから議案第13号に対して、討論を行います。

反対討論を行います。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) これで討論を終わります。

これから議案第13号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第13号は原案のとおり可決されました。

◎日程第45 議案第19号 紀美野町セミナーハウス未来塾条例の一部を改正する条例
について

○議長(小椋孝一君) 日程第45、議案第19号、紀美野町セミナーハウス未来
塾条例の一部を改正する条例について、議題とします。

これから質疑を行います。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) これで質疑を終わります。

これから議案第19号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) これで討論を終わります。

これから議案第19号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第19号は原案のとおり可決されました。

◎日程第46 議案第25号 紀美野町子ども医療費支給条例の一部を改正する条例につ
いて

◎日程第47 議案第26号 紀美野町ひとり親家庭医療費助成条例の一部を改正する条
例について

◎日程第48 議案第27号 紀美野町高齢者医療費助成条例の一部を改正する条例につ
いて

◎日程第49 議案第30号 紀美野町重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する
条例について

○議長(小椋孝一君) 日程第46、議案第25号、紀美野町子ども医療費支給条

例の一部を改正する条例について、日程第47、議案第26号、紀美野町ひとり親家庭医療費助成条例の一部を改正する条例について、日程第48、議案第27号、紀美野町高齢者医療費助成条例の一部を改正する条例について及び日程第49、議案第30号、紀美野町重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例について、一括議題とします。

これから質疑を行います。

13番、美濃良和君。

(13番 美濃良和君 登壇)

○13番(美濃良和君) 25号、26号、27号と今提案をされました。これは、さきの説明にあるように、委任払い制度に切りかえると、そういうふうということによるのでしょうか、それを確認したいと思います。

(13番 美濃良和君 降壇)

○議長(小椋孝一君) 住民課長、牛居君。

(住民課長 牛居秀行君 登壇)

○住民課長(牛居秀行君) 美濃議員の御質疑にお答え申し上げます。

そのとおりでございます。償還払いを現物払いという形で、立てかえが要らなくなるということでございます。議員のお見込みとおりでございます。

(住民課長 牛居秀行君 降壇)

○議長(小椋孝一君) ほかに質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) これで質疑を終わります。

これから議案第25号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) これで討論を終わります。

これから議案第25号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長（小椋孝一君） 異議なしと認めます。
したがって、議案第25号は原案のとおり可決されました。
これから議案第26号に対し、討論を行います。
反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。
（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで討論を終わります。
これから議案第26号を採決します。
本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 異議なしと認めます。
したがって、議案第26号は原案のとおり可決されました。
これから議案第27号に対して、討論を行います。
反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。
（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで討論を終わります。
これから議案第27号を採決します。
本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 異議なしと認めます。
したがって、議案第27号は原案のとおり可決されました。
これから議案第30号に対し、討論を行います。
反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。
（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで討論を終わります。

これから議案第30号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第30号は原案のとおり可決されました。

◎日程第50 議案第29号 紀美野町障害程度認定審査会の委員の定数等条例の一部を
改正する条例について

○議長(小椋孝一君) 日程第50、議案第29号、紀美野町障害程度認定審査会
の委員の定数等条例の一部を改正する条例について議題とします。

これから質疑を行います。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) これで質疑を終わります。

これから議案第29号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) これで討論を終わります。

これから議案第29号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第29号は原案のとおり可決されました。

◎日程第51 議案第39号 紀美野町道路占用条例の一部を改正する条例について

○議長(小椋孝一君) 日程第51、議案第39号、紀美野町道路占用条例の一部
を改正する条例について議題とします。

これから質疑を行います。

(「なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) これで質疑を終わります。

これから議案第39号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) これで討論を終わります。

これから議案第39号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第39号は原案のとおり可決されました。

◎日程第52 議案第47号 紀美野町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について

○議長 (小椋孝一君) 日程第52、議案第47号、紀美野町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について議題とします。

これから質疑を行います。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) これで質疑を終わります。

これから議案第47号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) これで討論を終わります。

これから議案第47号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第47号は原案のとおり可決されました。

◎日程第53 議案第48号 紀美野町民会館条例を廃止する条例について

○議長 (小椋孝一君) 日程第53、議案第48号、紀美野町民会館条例を廃止す

る条例について議題とします。

これから質疑を行います。

13番、美濃良和君。

(13番 美濃良和君 登壇)

○13番(美濃良和君) 久しく、この旧美里町において町民会館がございました。いろいろと行事等が行われてきたわけでございますけれども、雨漏りということで、ホール部分を、昨年でしたか、撤去しましたね。残りまだ会議室等が残っていると思えますけれども、町民会館の条例を廃止するというで当たりまして、これからはどのような使い方をされていくのか、そのことについてお聞きしたいと思います。

(13番 美濃良和君 降壇)

○議長(小椋孝一君) 企画管財課長、増谷君。

(企画管財課長 増谷守哉君 登壇)

○企画管財課長(増谷守哉君) 美濃議員の質疑にお答えさせていただきます。

町民会館につきましては、昭和51年9月に建設され、以降、利用をしてきたわけでございます。合併等、それから他の施設ができたということで、そこで利用する会議とか行事が別のところでできるということで、それで合併以降使われなくなってきています。建物の大ホールなんですけど、平成23年に取り壊しを行いました。この部分については、もう駐車場ということで整備させていただいて、一般の方も御利用できる駐車場として活用しています。残りの建物の研修室等がございます。この部分については、現状としては、倉庫的な利用ということでしてございますが、今後また、もっといい利用方法があれば、そういうふうな使い方もやっていければと考えているところです。ちょっとまだどういふふうな使い方にするというふうな方針は決まっておりますが、今後また考えていくということで、御理解いただきたいと思います。

(企画管財課長 増谷守哉君 降壇)

○議長(小椋孝一君) 13番、美濃良和君。

○13番(美濃良和君) 鉄筋ですから、耐用年数も相当長い、50年ぐらいあるんですかね。51年ということだと、まだ40年ぐらいですか。そういうことになっていると思えます。そうすると、残りの施設、エレベーターもつけたりして、相当いろいろとお金もつぎ込んでいると思うんですが、まだそれでは具体的にどうということもなく、どこかの検討課題にしていくと、そういうふうなことについてもないわけですか。

○議長（小椋孝一君） 企画管財課長、増谷君。

○企画管財課長（増谷守哉君） 美濃議員の再質疑にお答えさせていただきます。

建物なのですが、耐震基準というのがございまして、57年の見直しということで、基準の見直しがございました。この建物につきましては、51年ということで、耐震基準に合った建物ではないということで、多くの人が入るとか、そういう使い方については、建物自体を地震に耐えられるような大工事を行わなければいけません。そこまでして利用していく必要があるのかということも、また検討しながら、今の建物のままで利用できる利用方法があれば、そういう形で一遍検討していくということで考えてございます。

以上でございます。

○議長（小椋孝一君） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで質疑を終わります。

これから議案第48号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで討論を終わります。

これから議案第48号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第48号は原案のとおり可決されました。

◎日程第54 議案第49号 紀美野町水産業振興基金条例を廃止する条例について

○議長（小椋孝一君） 日程第54、議案第49号、紀美野町水産業振興基金条例を廃止する条例について議題とします。

これから質疑を行います。

13番、美濃良和君。

（13番 美濃良和君 登壇）

○13番（美濃良和君） 水産業振興基金、もともとは、ある企業から大きな寄附金があって、それをもとにこの基金を創設したというふうに記憶をしているんですけども、アユというのは非常にうまくいかない、冷水病があったり、鵜があったり、等々があったりして、なかなかお客さんも来てくれないような状況から、枯渇してしまったというふうな状況であるかと思います。

町として、水産業に関して、どのように考えておられるのか。例えば、基金を残すとするならば、やり方としたら基金へ積み込みをすることもできないことはないんですよ。しようと思えば、町の基金ですから。それをされずに、もう廃止ということではありますが、その一つには、水産業に対する考え方があるかというふうに思うんですけども、その辺のところ、基金条例を廃止するということから、どういうふうに考えてこの水産業を考えておられるのか、お聞きしておきたいと思います。

（13番 美濃良和君 降壇）

○議長（小椋孝一君） しばらく休憩します。

休 憩

（午後 3時31分）

再 開

○議長（小椋孝一君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（午後 3時32分）

○議長（小椋孝一君） 町長、寺本君。

（町長 寺本光嘉君 登壇）

○町長（寺本光嘉君） 今回の提案の中で、この基金条例を廃止して、この基金というのは、もう全くゼロなんですね。したがって、今まであった基金は食いつぶしたと。したがって、これからは町の一般会計の中から、ことしの平成26年度の当初予算の中にも上げさせていただいておりますが、アユ、アマゴ、これについては従来どおり補助をしていくということで上げております。

以上です。

（町長 寺本光嘉君 降壇）

○議長（小椋孝一君） 13番、美濃良和君。

○13番（美濃良和君） 農林水産業と言われますけれども、うちにとって、この

アユというのは非常に厳しい状況、水産関係はもう一つ振るわない部分であったかというふうに思います。しかし、昔から歴史的に見てみるならば、旧美里町の観光ということで潤ってきたと。聞けば、組合員という数においては、和歌山県内の漁業組合の中で断トツ多いらしいんですよね。そういうふうな中で来ている水産業、貴志川漁協ですか。ということもあったりして、今、町長、基金は枯渇したけれども、一般会計からの繰り入れを従来どおりやっていると。予算書を見たらそうなんですけれども、今後ともそういうふうな形で、この水産業というのを、まちの産業の一つとして取り組んでいかれると、そういうふうに読み取ってよろしいわけですか。

○議長（小椋孝一君） 町長、寺本君。

○町長（寺本光嘉君） 美濃議員の再質疑にお答えをいたしたいと思いますが、この水産業というよりも、むしろ観光事業の中の一環であろうかと思えます。したがって、我々が今進めております観光事業、貴志川を中心としたですね、そうした中でやはり放流が必要であるということで、アマゴ、それからアユということで上げさせていただいております。

ただ、漁業組合の会員も非常に多いと、しかしながら、また高齢者の皆さん方も非常に多くなってきております。そんな中で、今後ともやはりそうしたことを検討しながら、町としては一般会計の中から、観光面の、そうしたことにおいて、これからも置きたい。予算的なそれを置きたいということで努力してしますので、ひとつよろしくお願いを申し上げたいと思います。

以上です。

○議長（小椋孝一君） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで質疑を終わります。

これから議案第49号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで討論を終わります。

これから議案第49号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第49号は原案のとおり可決されました。

以上で、本日の日程は全部終了しました。

散 会

○議長 (小椋孝一君) 本日はこれで散会します。

(午後 3時35分)